

令和3年度行政事業レビュー事業単位整理表兼点検結果の令和4年度予算概算要求への反映状況調表

(単位:百万円)

Table with columns for project name, start/end years, budget, and review status. It details the implementation of various projects like 'Improvement of National Archives' and 'Expansion of Government Information Strategy' across different fiscal years and budget requests.

施策名：3. アイス政策の推進																													
010	アイス政策推進交付金	令和元年度	-	2,003	1,593	1,530	点検対象外	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めることとし、効率的に執行した実績を概算要求に反映させるとともに、昨年の外部有識者の所見を踏まえ、フォローアップを適切に行うこと。	2,003	2,303	300	-	現状通り	事業を実施する市町村と連携し、行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえて、引き続き、効果的・効率的な事業の実施等に努める。昨年の外部有識者の所見を踏まえ、引き続き、フォローアップを行っている。	新たな成長推進枠：500 大臣官房 アイス政策推進室	一般会計	(項) アイス政策推進費(大事項) アイス政策の推進に必要な経費	内閣府 新31 - 0150					令和2年度対象			○		
施策名：4. 経済財政に関する施策の推進																													
011	政府調達事情処理の推進に必要な経費	平成8年度	-	2	2	0	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めること。	2	2	0	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めること。	政策統括官(経済財政運営担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要経費	内閣府 - 0010 -					平成29年度対象					
012	対日直接投資の促進に必要な経費	平成13年度	-	3	3	1	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めること。	2	2	▲0	-	現状通り	所見を踏まえ、事業の適切な進捗管理、効果的かつ効率的な予算執行に努める。	政策統括官(経済財政運営担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要経費	内閣府 - 0011 -					令和2年度対象					
013	道州制特区的推進に必要な経費	平成18年度	-	1	1	0	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めること。	1	1	0	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努める。	政策統括官(経済財政運営担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要経費	内閣府 - 0012 -					令和2年度対象					
014	民間資金等活用事業調査等に必要な経費	平成13年度	-	339	339	305	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めること。	170	199	29	-	現状通り	契約にあたっては、一者応札の差正に留意の上、調査等を実施していく。	新たな成長推進枠：49 政策統括官(経済社会システム担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要経費	内閣府 - 0013 -					平成30年度対象	○	○			
015	市民活動の促進に必要な経費	平成10年度	-	155	63	38	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めること。	59	20	▲39	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努める。	政策統括官(経済社会システム担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要経費	内閣府 - 0014 -					令和元年度対象	○				
016	休暇給付金等活用に関する調査等に必要な経費	平成29年度	-	25	25	13	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な実施及び説明責任を果たすとともに、一者応札の差正に努めること。	25	20	▲6	-	現状通り	引き続き、事業の適切な実施及び説明責任を果たすとともに、一者応札の差正に努める。	政策統括官(経済社会システム担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要経費	内閣府 - 0015 -					平成30年度対象	○				
017	国内の経済動向調査等に必要な経費	平成12年度	-	59	59	55	点検対象外	現状通り	一者応札の現状について、引き続き参加可能な事業者の事前調査及び参加要件の緩和を検討するなど、一者応札の差正に努めること。	58	52	▲6	-	現状通り	一者応札については、引き続き、市場価格調査を行い多数の業者呼びかけを行うなどとして、入札参加企業を増やすことに努める。また、仕様書を工夫して作成するなど、公示期間を2週間以上1幅広く周知するよう取り組み、より一層の効率化を図る。	政策統括官(経済財政分析担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要経費	内閣府 - 0016 -					令和元年度対象					
018	国内の経済動向に係る産業及び地域経済の調査等に必要な経費	平成12年度	-	156	156	146	点検対象外	現状通り	一者応札の現状について、引き続き参加可能な事業者の事前調査及び参加要件の緩和を検討するなど、一者応札の差正に努めること。	156	149	▲7	-	現状通り	引き続き市場価格調査の実施や十分な公告期間の確保、参加要件の緩和について検討を行い、一者応札の差正に努める。	政策統括官(経済財政分析担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要経費	内閣府 - 0017 -					平成30年度対象					
019	海外の経済動向調査等に必要な経費	平成12年度	-	42	42	38	点検対象外	現状通り	本事業の主旨は、国の経済財政政策推進のために必要な情報を大臣、幹部等に報告することであり、主要国に限定し関係記事が掲載されることにも意義は認められるものの、大臣・幹部が新聞記事を通じて初めて情報を得るものと思えず、それより先方から得ることは、的的外れ的印象を与えないように思う。	41	23	▲17	-	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、引き続き事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努める。	政策統括官(経済財政分析担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要経費	内閣府 - 0018 -					前回点検から5年					
施策名：5. 地方創生に関する施策の推進																													
020	地方創生に向けたSDGs推進事業	平成30年度	-	473	482	440	点検対象外	現状通り	一者応札の現状について、参加可能な事業者の事前調査及び参加要件の緩和を検討するなど、一者応札の差正に努めること。	504	730	226	-	現状通り	今後事業内容等について検証を行い、一者応札の差正に努める。	新たな成長推進枠：440 地方創生SDGs推進推進プラットフォーム等ウェブページ及び(仮称)地方創生SDGs官民連携プラットフォームマッチング支援活性化に係るシステムの構築については、令和4年度概算要求からデジタル庁にて予算計上。	地方創生推進室	一般会計	(項) 地方創生支援費(大事項) 地方創生の支援に必要な経費	内閣府 - 0019 -	内閣府 - 0020 -					令和元年度対象	○	○	
021	地方創生リーダー人材の育成・普及事業に必要な経費	平成27年度	令和6年度	1,424	1,431	890	点検対象外	現状通り	事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求へ反映させるべき。	341	362	21	-	現状通り	執行実績も踏まえて経費を精査の上、令和4年度の執行見込みも勘案して要求することとした。	新たな成長推進枠：68 地域金融機関等が行う人材マッチングを実施する「先導的人材マッチング事業」に必要な経費として事項要求している。	地方創生推進室	一般会計	(項) 地方創生支援費(大事項) 地方創生の支援に必要な経費	内閣府 - 0021 -					令和元年度対象	○	○		
022	地方版総合戦略の推進に必要な経費	平成27年度	-	1,517	997	899	点検対象外	現状通り	一般的にはESPMの推進という観点から有用な施策と考えられる。しかし、RESAS、V-RESASの事業目的の明確化、すなわち自治体施策を策定することで利用し、「その他の利用」について、それぞれ対応をどうするか明確にする必要があるのではないか。また同時に、その普及を後押しする専門家の派遣、研修の実施等についても、その目的の明確化に沿って、対応が考えられるべきである。利用が拡大されるにつれてRESAS、V-RESASの効果検証が必要となる。ESPMに利用されたと書いても、どの部分がどう役立ったかの検証がないままでは不透明である。専門家の派遣や研修、利用に際して行なわれる事項についても、同時に効果の検証が求められる。これらの検証を通じて、データベースの内容を、その利用の改善が図られ、また将来的には、このデータベースの維持についての方向性を国が判断する材料にもなるものと思われる。なお、V-RESASについては新型コロナウイルス感染症対策と関係づけられた説明を受けたが、V-RESAS自身が新型コロナウイルスの対策とともに統括するものなのかは不明確であった。予算額の大きさから、あらかじめ明確にすべき事項と思われる。	事業内容の一部改善	108	98	▲10	-	年度内に改善を検討	所見を踏まえ、令和3年度にRESAS、V-RESASの効果検証を行う調査を実施し、RESAS、V-RESASの活用実態の把握に努める。V-RESASについては、新型コロナウイルス感染症の動向が依然として不透明であるが、民間のリアルタイムデータの活用に向けた先進的な取組であった。足下の状況も踏まえ、データ活用ツールのあり方について検討を行う。	新たな成長推進枠：18 RESAS-タークルの経費については、令和4年度概算要求からデジタル庁にて予算計上。	地方創生推進室	一般会計	(項) 地方創生支援費(大事項) 地方創生の支援に必要な経費	内閣府 - 0022 -					前回点検から5年	○		
023	高校生地域留学の推進のための高校魅力化支援事業	平成30年度	-	170	170	97	点検対象外	現状通り	事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証するとともに、事業の進捗状況の把握に努めるべき。また、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求へ反映させるべき。	158	162	4	-	現状通り	引き続き、事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求へ反映させたい。	新たな成長推進枠：22 地方創生推進室	一般会計	(項) 地方創生支援費(大事項) 地方創生の支援に必要な経費	内閣府 - 0032 -					令和元年度対象			○		
024	地域の担い手展開推進事業	平成30年度	-	46	46	41	点検対象外	現状通り	昨年の有識者の所見を踏まえ、当該事業について、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性・成果を適切に検証するべき。	42	38	▲4	-	現状通り	執行実績も踏まえて経費を精査の上、令和3年度の執行見込みも勘案して要求することとした。事業については所見を踏まえ、多様な観点から検証できるように取り組んでいく。	地方創生推進室	一般会計	(項) 地方創生支援費(大事項) 地方創生の支援に必要な経費	内閣府 - 0033 -					令和2年度対象	○				
025	地方創生インターンシップ推進事業	令和元年度	-	20	20	18	点検対象外	現状通り	事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求へ反映させるべき。	18	18	0	-	現状通り	引き続き、地方公共団体と連携した情報発信や関係者向けの研修会等の開催を通じて地方でのインターンシップを推進するとともに、地域ごとに異なるインターンシップの取組状況や課題に対し、外部有識者・内閣府等による相談会を開催し、今後、所見を踏まえ、事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確な検証に努めてまいりたい。	地方創生推進室	一般会計	(項) 地方創生支援費(大事項) 地方創生の支援に必要な経費	内閣府 - 0036 -					令和2年度対象	○				

026	地方へのサテライトキャンパス設置等に関するマッチング支援事業	令和2年度	-	10	10	10	非現実的。あまりにも現状を知らない。①同じような事業は年度の初期に多くあったが、地方に進出した地方大学は増加した。地元に残って「公立大学」化する選択をした。②施設は地元に残る者にと、地方に残りたがる者に分かれ、後者は元の国立大学に進学する。投資額が安いからである。③教員も、地方に行きたくない。④サテライトキャンパスだけで必要な卒業要件単位をそろえることは難しい。単位がつかない。⑤一部地方で譲渡を受けられるとしても、結局卒業要件単位をそろえるためには、学生も大学も東京に住居・本拠地を置かざるを得ない。⑥コスト、無駄な支出を減らす。⑦地方私立大学に支出を減らす。⑧地方私立大学に支出を減らす。⑨地方私立大学に支出を減らす。⑩地方私立大学に支出を減らす。	事業内容の一部改善	ポータルサイトへのアクセス数が多いが、サテライトキャンパス設置等に関する相談及びマッチング件数が少ないこと、また、外部関係者の所見を踏まえた、事業内容の見直しを行い、本事業における有効性・効果の向上を検討するべき。	15	15	0	-	執行等改善	ポータルサイトの運用状況を踏まえ、令和3年度においては、誘致を希望する地方公共団体へのコンサルティングを行うなど、地方へのサテライトキャンパスの設置に向けた動きをより具体的なものとしており、同キャンパス設置に向けた動きを加速させているところ。 また、若者の地方への流れを促進するとともに、魅力的な地域産業を創出するためにも、地方にキャンパスを実現することは大変有効であると考えており、多岐(まち・ひと・しごと創生総合戦略)や「経済財政運営と改革の基本方針2021」などの政府文書にも明記されている取組である。難易度の高い取組ではあるが、実現すれば恵まれた環境での学生教育の充実、学生の地方定着の促進、新たな地域の創出、地域における新たな産業の創出など、地方創生にとって大きな効果が期待される事業である。 令和4年度要求では、本所見を踏まえ、コンサルティングの対象とする自治体数の増加とともに、地方公共団体向けの研修会も検討しており、サテライトキャンパスの設置に向けた動きをより積極的に推進してまいりたい。 (上記研修会を実施するに当たり、令和3年度中に、キャンパス誘致の意向を示している地方公共団体の数全体の全体的な底上げを行うためのポイント集を作成する。)	新たな成長推進特: 5	地方創生推進室	一般会計	(項) 地方創生支援費(大事項) 地方創生の支援に必要な経費	内閣府 新2 - 0010	-	-	-	前年度新規	○		
027	未来技術データ活用支援事業	令和2年度	令和3年度	17	17	9	「オープンデータを活用して地域課題を解決・改善」しなかった地方公共団体の担当職員、その理由をヒアリングするべきである。現状の最新情報の提供を認識して欲しい。	現状通り	外部関係者の所見を踏まえ、事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証するべき。また、執行実績を適切に概算要求に反映するべき。	10	0	▲10	-	執行等改善	所見を踏まえ、地方公共団体へのアンケート調査を実施し、効率性について適切かつ的確に検証するよう努める。なお、令和4年度要求では、新規事業の「DX地域版(仮称)」に統合することとして、本事業は廃止する。		地方創生推進室	一般会計	(項) 地方創生支援費(大事項) 地方創生の支援に必要な経費	内閣府 新2 - 0001	-	-	-	前年度新規	○		
028	関係人口創出・拡大のための対流促進事業	令和2年度	-	100	100	98	提案型モデル事業と官民連携プラットフォームとの関係性を考えた予算の使い方がなっているか検証し、改善し、なお、中間評価結果は地方自治体と密接な関係を持つことが少ない。地方自治体の役割を再確認して、地域の自立・地方分権の推進を目的とした方向で内閣府は卒業するタイミングを考えた必要もある。	現状通り	外部関係者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証するべき。	155	240	85	-	現状通り	提案型モデル事業の取組について、官民連携プラットフォームと連携し、情報発信を行っている。また、提案型モデル事業の計画に当たって、関係者の関係者(地方自治体を含む)との連携・協力体制や役割分担を明確にしている。所見を踏まえ、事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証していく。	新たな成長推進特: 102	地方創生推進室	一般会計	(項) 地方創生支援費(大事項) 地方創生の支援に必要な経費	内閣府 新2 - 0002	-	-	-	前年度新規	○		
029	地方創生テレワーク推進事業	令和2年度	-	100	-	-	点検対象外	現状通り	事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証ができるよう、事業の進捗状況の把握に努め、予算の効率的な執行となるよう努めるべき。	120	220	100	-	現状通り	上記の所見を踏まえ、委託事業者等との連携を密接に図り事業を推進している。また、令和4年度要求では、概算要求を踏まえ、概算要求を行っているところ。	新たな成長推進特: 120	地方創生推進室	一般会計	(項) 地方創生支援費(大事項) 地方創生の支援に必要な経費	内閣府 新3 - 0001	-	-	-	前年度新規	○		
030	地方創生テレワーク推進交付金	令和2年度	令和6年度	10,000	-	-	点検対象外	現状通り	交付金対象事業の効果測定や検証を行い、適切かつ効果的な生活活動のためのフォローアップに努め、予算の効率的な執行となるよう努めるべき。	0	0	0	-	現状通り	地方創生テレワーク交付金については交付対象事業の完了後に実績報告の提出を求めているとともに、事業の取組状況や印の進捗状況等について一定の時期に報告を求めるとして、所見を踏まえ、交付金の適切な執行のためにフォローアップを実施し、予算の効率的な執行となるよう努めている。	地方でテレワークを活用することによる「軽微な事務性」を実現するため、サテライトオフィスの整備・利用促進等を推進する「地方創生テレワーク交付金」に必要な経費として事項要求している。	地方創生推進室	一般会計	(項) 地方創生支援費(大事項) 地方創生の支援に必要な経費	内閣府 新3 - 0002	-	-	-	前年度新規	○		
031	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果促進事業	令和2年度	令和3年度	101	-	-	点検対象外	現状通り	事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証ができるよう、事業の進捗状況の把握に努め、予算の効率的な執行となるよう努めるべき。	0	0	0	-	現状通り	経路を用いて行う本支援、広報・検証事業につき、交付金事業の進捗を確認しながら、予算の効率的な執行となるよう努める。		地方創生推進室	一般会計	(項) 地方創生支援費(大事項) 地方創生の支援に必要な経費	内閣府 新3 - 0002	-	-	-	前年度新規	○		
032	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	令和2年度	令和3年度	4,500,000	2,615,182	2,614,471	巨額の交付金であり、異日本大震災時の復興資金のような不適切な予算執行とならぬよう十分監視していかねばならない。「事業の有効性・成果の検証」に、交付上限額を算定しており」とあるが、これは、実際の交付に当たっては金額が確定されるまで考えられない。また、交付上限額を算定しているが、交付上限額を交付することとなるが、予算執行の「遅延」という面で気に係るところである。	現状通り	外部関係者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証するべき。	0	0	0	-	現状通り	本交付金の交付に当たっては、まず、地方公共団体ごとの状況を勘案した交付上限額を算定し、その後に、地方公共団体ごとに提出された実績報告を基に実際に交付する金額を決定している。なお、本交付金事業については、まず各地方公共団体においてその有効性・効率性を検証していただくものであるが、国においても令和3年度中に予定している効果検証事業において本事業の有効性・効率性を検証していく。	コロナ予算費(3,379,107百万円)	地方創生推進室	一般会計	(項) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に必要な経費	内閣府 新2 - 0003	-	-	-	前年度新規	○		
033	国家戦略特区の推進に必要な経費	平成26年度	-	109	109	94	点検対象外	現状通り	一帯広札の現状について、引き続き参入可能な事業者の事前調査及び参入要件の緩和を検討するなど、一帯広札の是正に努めること、また、事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、予算の効率的な執行に努め、執行実績を適切に概算要求へ反映させるべき。	72	75	3	-	現状通り	引き続き予算執行管理を徹底するとともに、事業者の事前調査等を行うことにより一帯広札の是正に努める。本政策の広報は、制度に対する国民の理解向上につながり、また、制度を利用する自治体や関係事業者にとって有益なものであるため、より効果的な事業となるよう工夫に努めるとともに、令和4年度予算要求については、執行実績および執行見込みを踏まえた予算要求を行った。		地方創生推進事務局	一般会計	(項) 地方創生推進事務局(大事項) 地方創生の推進に係る計画認定等に必要な経費	内閣府 - 0023 -	-	-	-	令和2年度対象	○	○	
034	中心市街地活性化の推進に必要な経費	平成19年度	-	5	5	3	全体に概ね順調に推移しているものと評価するが、「事業の有効性」面で、基本計画が当初の進捗を下回ったところを、他の活動3を以て目標に見合ったものとする。設定したアウトカムとは異なる要素で評価することとなり、適切とは言えないように思う。	現状通り	外部関係者の所見のとおり、事業の有効性の記載内容を修正し、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証するべき。	16	30	14	-	現状通り	外部関係者の所見のとおり、事業の有効性の記載内容を修正した。		地方創生推進事務局	一般会計	(項) 地方創生推進事務局(大事項) 地方創生の推進に係る計画認定等に必要な経費	内閣府 - 0024 -	-	-	-	前年度点検から5年	○		
035	構造改革特別区域計画の認定等に必要な経費	平成14年度	-	7	7	2	特区制度の活用を700自治体が希望していることとされる反面、ここ数年の認定件数は20件程度。また目標も大幅超過であり、予算の執行も、事業の効率的な実施による効果とするには大幅に低いものに見まわっている。事業の進め方の見直しが必要なのではないか。	現状通り	外部関係者の所見のとおり、事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、執行実績を適切に概算要求へ反映させるべき。	6	6	0	-	現状通り	事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、適正な予算要求・執行に努める。		地方創生推進事務局	一般会計	(項) 地方創生推進事務局(大事項) 地方創生の推進に係る計画認定等に必要な経費	内閣府 - 0025 -	-	-	-	前年度点検から5年			
036	地域再生の推進に必要な経費	平成17年度	-	280	280	209	点検対象外	現状通り	引き続き多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証するべき。	267	269	2	-	現状通り	今後本制度が有効に活用されるよう、周知・利用促進に取り組むとともに、事業の進捗状況を把握し、予算の効率的な執行に努める。		地方創生推進事務局	一般会計	(項) 地方創生推進事務局(大事項) 地方創生の推進に係る計画認定等に必要な経費	内閣府 - 0026 -	-	-	-	令和2年度対象	○	○	
037	地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)普及促進事業	平成29年度	-	84	84	72	点検対象外	現状通り	事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、予算の効率的な執行に努め、執行実績を適切に概算要求へ反映させるべき。	45	58	13	-	現状通り	寄附額及び寄附件数は平成28年度から令和2年度にかけ、約14.7倍(約2億7,500万円→約2.24倍)となっており、制度の活用事例等の周知といった広報の効果も現れてきていると考えられる。所見を踏まえ、予算の効率的な執行に努める。今後とも、本制度の要する活用促進を図るため、地方公共団体や民間企業等に向けた、制度内容や活用事例等に係る広報をさらに強化していく。		地方創生推進事務局	一般会計	(項) 地方創生推進事務局(大事項) 地方創生の推進に係る計画認定等に必要な経費	内閣府 - 0027 -	-	-	-	平成30年度対象		○	
038	総合特区計画に基づく支援措置等に必要な経費	平成23年度	-	570	570	409	点検対象外	現状通り	事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、予算の効率的な執行に努め、執行実績を適切に概算要求へ反映させるべき。	491	454	▲38	-	執行等改善	本事業の有効性・効率性・成果について、引き続きフォローアップを行い実施を把握するとともに、これまでの執行実績等(例えば、特許取得は、各自治体の活用の特許計画の目標を達成した特区における利用について特許情報等を把握調査するなど、予算の効率的な執行にも努めている)も踏まえて予算要求を行った。		地方創生推進事務局	一般会計	(項) 地方創生推進事務局(大事項) 地方創生の推進に係る計画認定等に必要な経費	内閣府 - 0028 -	-	-	-	令和2年度対象	○		

039	総合特区の推進調整に必要な経費	平成23年度	-	10	10	点検対象外	現状通り	昨年引き続き執行ができなかったことを踏まえ、各府県に対し本事業の周知を行うなど、予算の効率的執行に努めるべき。なお、執行にあたっては事業の効率的・効果性・成果について適切かつ的確に検証するべき。	5	5	0	-	年度内に改善を検討	本事業の有効性・効果性・成果について、引き続きフォローアップを行い進捗を把握するとともに、これまでの執行実績等も踏まえて予算要求を行った。	地方創生推進事務局	一般会計	(項) 総合特区推進調整費 (大事項) 総合特区の推進調整に必要な経費	内閣府	- 0029 -	-	-	-	-	令和2年度対象					
040	地方創生推進交付金	平成28年度	-	97,528	106,014	90,984	点検対象外	現状通り	引き続き交付金事業の効果測定や検証、適切な交付金活用のためのフォローアップを行い、予算の効率的執行に努め、執行実績を概算要求へ適切に反映させるべき。	95,023	113,010	17,986	-	現状通り	交付金事業の効果測定や検証、適切な交付金活用のためのフォローアップを行い、予算の効率的執行に努め、執行実績を概算要求へ適切に反映させるべき。	地方創生推進事務局	一般会計	(項) 地方創生推進事務局 (大事項) 地方創生の推進に係る計画認定等に必要な経費 (項) 地方創生推進費 (大事項) 地方創生の推進に必要な経費 (項) 地方創生基盤整備事業推進費 (大事項) 地方創生の推進のための基盤整備事業に必要な経費	内閣府	- 0030 -	-	-	-	-	平成29年度対象	○	○		
041	地方創生拠点整備交付金	平成28年度	-	52,500	55,724	19,404	点検対象外	現状通り	引き続き交付金事業の効果測定や検証、適切な交付金活用のためのフォローアップを行い、予算の効率的執行に努め、執行実績を概算要求へ適切に反映させるべき。	5,000	7,000	2,000	-	現状通り	交付金事業の効果測定や検証、適切な交付金活用のためのフォローアップを行い、予算の効率的執行に努め、執行実績を概算要求へ適切に反映させるべき。	地方創生推進事務局	一般会計	(項) 地方創生推進費 (大事項) 地方創生の推進に必要な経費 (項) 地方創生基盤整備事業推進費 (大事項) 地方創生の推進のための基盤整備事業に必要な経費	内閣府	- 0031 -	-	-	-	-	平成29年度対象		○		
042	交付金効果検証分析事業	平成30年度	-	100	100	52	点検対象外	現状通り	事業の有効性・効果性・成果について適切かつ的確に検証し、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求へ反映させるべき。	95	97	2	-	現状通り	地方創生推進交付金事業及び地方創生拠点整備交付金事業のより一層の適切な執行に努め、執行実績を適切に概算要求へ反映させるべき。	地方創生推進事務局	一般会計	(項) 地方創生推進事務局 (大事項) 地方創生の推進に係る計画認定等に必要な経費	内閣府	- 0034 -	-	-	-	-	令和2年度対象				
043	地方大学・地域産業創生交付金	平成30年度	-	2,360	2,358	1,315	点検対象外	現状通り	引き続き交付金事業の効果測定や検証、適切な交付金活用のためのフォローアップを行い、予算の効率的執行に努め、執行実績を概算要求へ適切に反映させるべき。	2,358	2,508	150	-	現状通り	・採択された事業については、そのフォローアップとして、評価委員による現地視察(サイドビジット)や定期的な事務局との意見交換等を実施し、交付金による支援期間後の自立性や、大学改革の実現性等について、その高度を高める取組みを進めていること。・加えて、多様な新規提案を募るため、「案件公募」に加え、評議委員や事務局が申請団体に対し助言を行いながら、約半年間かけて計画作成の支援を行う「計画作成支援枠」での申請を受け付ける等により、新たな産業分野や特色ある大学の掘り起こしを充実させる。	地方創生推進事務局	一般会計	(項) 地方創生推進事務局 (大事項) 地方創生の推進に係る計画認定等に必要な経費 (項) 地方創生推進費 (大事項) 地方創生の推進に必要な経費	内閣府	- 0035 -	-	-	-	-	令和元年度対象		○		
044	スパーシティの推進に必要な経費	令和2年度	-	1,003	258	211	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、調査委託の結果、地方創生の観点より本事業がどのよう成果につながるのか等、説明の工夫をするべきであろう。	300	351	51	-	現状通り	本事業は、データ連携基盤の構築などスーパーシティ構想の取組を促進させるものであり、その成果の共有や優良事例の全国への展開等に努めるものである。なお、スーパーシティ構想の全国への浸透機会等を踏まえつつ、出口戦略についても検討している。	地方創生推進事務局	一般会計	(項) 地方創生推進事務局 (大事項) 地方創生の推進に係る計画認定等に必要な経費	内閣府	新2 - 0004	-	-	-	-	前年度新規		○		
045	総合戦略に基づく重点施策広報事業	令和2年度	-	50	20	29	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効果性について適切かつ的確に検証するべき。	20	50	30	-	現状通り	所見を踏まえ、ウェブサイトのアクセス解析結果や総務・広報等の専門的な観点から多角的に事業を検証し、コロナ禍における東京圏居住者の地方移住の関心をより一層高める効果的なアプローチとなるよう、事業内容の改善を図る。	地方創生推進事務局	一般会計	(項) 地方創生推進事務局 (大事項) 地方創生の推進に係る計画認定等に必要な経費	内閣府	新2 - 0005	-	-	-	-	前年度新規		○		
046	都市再生推進経費	平成28年度	-	70	130	109	点検対象外	現状通り	一者応札の現状について、引き続き参入可能な事業者の事前調査及び参入要件の緩和を検討するなど、一者応札の是正に努めること。また、事業の有効性・効果性・成果について適切かつ的確に検証し、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求へ反映させるべき。	70	97	27	-	現状通り	一者応札の現状について、参入可能な事業者の事前調査及び参入要件の緩和を検討するなど、一者応札の是正に努めること。また、事業の有効性・効果性・成果を適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努める。	地方創生推進事務局	一般会計	(項) 地方創生推進事務局 (大事項) 地方創生の推進に係る計画認定等に必要な経費	内閣府	- 0158 -	-	-	-	-	平成29年度対象		○		
047	産業遺産に係る情報収集・情報発信の充実強化に必要な経費	平成30年度	-	357	477	403	点検対象外	現状通り	産業遺産情報センターは世界遺産や産業遺産に関する科学的・技術的知見に基づいた、情報提供や人材育成のための総合的な拠点であると位置づけられており、国費を投入し運営等を行っていることから、引き続きアウトカム及びアウトプットについてその効果を測定できる中長期的な目標を設定するよう検討すべき。また、一者応札の現状について、引き続き参入可能な事業者の事前調査及び参入要件の緩和を検討するなど、一者応札の是正に努めること。	445	465	20	-	現状通り	引き続き、運営状況を踏まえた効果の測定に努め、アウトカム及びアウトプットについて、その効果を測定できる中長期的な目標を設定するよう検討すべき。また、一者応札の現状について、引き続き参入可能な事業者の事前調査及び参入要件の緩和を検討するなど、一者応札の是正に努めること。	地方創生推進事務局	一般会計	(項) 地方創生推進事務局 (大事項) 地方創生の推進に係る計画認定等に必要な経費	内閣府	- 0159 -	-	-	-	-	令和元年度対象				
048	特定地域づくり事業の推進に必要な経費	令和2年度	-	500	500	9	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効果性について適切かつ的確に検証するべき。	500	500	0	-	現状通り	今後は調査費用を用いて、ブロック説明会やオンライン説明会、調査研究を通じた好事例の展開を図り、特に新たな成長推進枠では、取組が進まない地域への普及啓発を通じて積極的に組合の認定件数を増加させるための働きかけを実施し、制度活用の効果を全国的に普及させ、効果的な成果を達成し、地域人口の急減に對する対応のための特定地域づくり事業の推進に関する法律(令和元年法律第64号)附則第2条の規定に基づき、法定後継も年数を目標として、制度の見直しを行うこととされていることから、この法律の施行の状況を踏まえ、事業の有効性・効果性について適切かつ的確に検証を行ってまいりたい。	地方創生推進事務局	一般会計	(項) 特定地域づくり事業推進費 (大事項) 特定地域づくり事業の推進に必要な経費	内閣府	新2 - 0014	-	-	-	-	-	前年度新規		○	
施策名: 8. 科学技術基本計画の策定・推進																													
049	原子力政策の検討及び適切な情報発信等	平成13年度	-	127	127	61	点検対象外	現状通り	引き続き専門性の高い分野の取組に関しては、参入可能な事業者の事前調査及び参入要件の緩和を検討するなど、一者応札の是正に努めること。	128	139	11	-	現状通り	公算の際は、事業者への声かけ等により周知徹底するとともに、入札要件の緩和や入札説明会において事業内容を丁寧に説明すること等により、一者応札の是正に努めること。	科学技術・イノベーション推進事務局	一般会計	(項) 科学技術・イノベーション政策費 (大事項) 科学技術・イノベーション政策の企画立案等に必要な経費 (項) 科学技術・イノベーション推進費 (大事項) 科学技術・イノベーション推進に必要な経費	内閣府	- 0037 -	-	-	-	-	平成29年度対象	○	○		
050	戦略的イノベーション創造プログラム(エネルギー分野、次世代インフラ分野及び地域資源分野)	平成26年度	-	29,397	29,397	29,228	点検対象外	現状通り	引き続き、過去の有識者の所見を踏まえ、各府県の協力を得て、アカウンタビリティの向上に努めること。	28,000	28,000	0	-	現状通り	本事業で実施している各課題のアウトプットやアウトカムについて、課題ごとに記載しているとともに、資金の流、質、使途、支出上位10者リストについても課題ごとに作成しており、アカウンタビリティの向上に努めている。	科学技術・イノベーション推進事務局	一般会計	(項) 科学技術イノベーション創造推進費 (大事項) 科学技術イノベーション創造推進に必要な経費	内閣府	- 0038 -	-	-	-	-	平成30年度対象	○	○		
051	科学技術イノベーション創造推進費(健康・医療分野)	平成26年度	-	17,500	17,500	17,500	点検対象外	現状通り	過去の有識者の所見を踏まえ、事業の適切な進捗管理、予算の効率的かつ効果的な執行に努めること。	17,500	17,500	0	-	現状通り	所見の通り、引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的かつ適正な執行に努めることとする。	科学技術・イノベーション推進事務局	一般会計	(項) 科学技術イノベーション創造推進費 (大事項) 科学技術イノベーション創造推進に必要な経費	内閣府	- 0039 -	-	-	-	-	令和2年度対象	○	○		
052	官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM)	平成30年度	-	11,900	11,000	10,991	点検対象外	現状通り	予算配分案の検討にあたっては、第三者評価を行う審査会を設置し、年度ごとの効果を検証するなど、事業を効率的・効果的に運営するための取組みが見受けられる。過去の公開プロセスでの指摘を踏まえ、引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的かつ効果的な執行に努めること。	10,000	10,000	0	-	現状通り	今後は、第三者による評価を踏まえ、事業の適切な進捗管理、予算の効率的かつ効果的な執行に努めること。	科学技術・イノベーション推進事務局	一般会計	(項) 科学技術イノベーション創造推進費 (大事項) 科学技術イノベーション創造推進に必要な経費	内閣府	- 0040 -	-	-	-	-	令和元年度対象				
施策名: 9. 遺棄化学兵器の廃棄処理の実施																													
053	遺棄化学兵器廃棄処理事業経費	平成11年度	-	53,974	42,065	31,101	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、より一層、効率的な経費の執行に努めるとともに、執行実績を概算要求に適切に反映させること。	50,085	62,976	12,891	-	現状通り	外部有識者及び行政サービス推進チームの所見を踏まえ、より一層、効率的な経費の執行に努め、執行実績を概算要求に適切に反映させる。	遺棄化学兵器処理担当室	一般会計	(項) 遺棄化学兵器廃棄処理事業費 (大事項) 遺棄化学兵器廃棄処理事業に必要な経費	内閣府	- 0041 -	-	-	-	-	前年度繰り越		○		

施策名：10. 防災に関する施策の推進																												
054	防災に関する普及・啓発に必要な経費	昭和57年度	-	459	459	459	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の適切かつ効率的な執行に努めること。	403	472	69	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の適切かつ効率的な執行に努めること。	新たな成長推進特：92	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費(大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要な経費	内閣府	-	0042	-	-	-	平成30年度対象		○
055	国と地方の防災を担う人材の育成に係る経費	平成25年度	-	174	174	160	点検対象外	現状通り	引き続き、過去の有識者の所見を踏まえ、充実した研修を実施するとともに国民が研修の成果を具体的に判断できるように努めること。	115	135	20	-	現状通り	所見を踏まえ、更に充実した研修となるよう努めるとともに、国民が研修成果を具体的に判断できるように努めること。有識者からの意見も聞きながら検討していく。	新たな成長推進特：30	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費(大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要な経費	内閣府	-	0043	-	-	-	令和元年度対象		
056	国際防災協力の推進に必要な経費	平成10年度	-	248	248	228	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、引き続き事業の有効性・効率的・成果について適切な検証に努めること。	248	246	▲2	-	現状通り	我が国はこれまで国連防災世界会議において「仙台防災枠組」の取りまとめを主導するなど、世界各国での「防災の主流化」に取組み進んでいるが、我が国の知識・経験を伝え、各国において「防災の主流化」を実現し、災害に強い国際社会にしていくためには、3年間の経理期間で伝えるだけでは不十分であり、継続的な働きかけが不可欠である。より有効なアウトカムの検討もしつつ、国際防災協力の推進、防災関係の官民連携協議会(JIPAD)の調査、アジア防災センターによる研修等を通じて、各地域・国・ケースを把握し、それらを踏まえ研修事業やJIPADによるセミナー等を開催することを進めて、防災分野における国際協力を効果的かつ効率的に推進してまいりたい。	新たな成長推進特：15	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費(大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要な経費	内閣府	-	0044	-	-	-	前回点検から5年		
057	災害復旧・復興に関する施策の推進に必要な経費	平成7年度	-	64	84	22	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の適切かつ効率的な執行に努めること。	53	163	110	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の適切かつ効率的な執行に努めること。	新たな成長推進特：115	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費(大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要な経費	内閣府	-	0045	-	-	-	平成29年度対象		
058	被災者支援に関する総合的対策の推進経費	平成25年度	-	636	87	11	点検対象外	現状通り	過去の有識者の所見を踏まえ、指針・ガイドラインを一定期間経過後にレビューすることの有効性を検証することに努めること。また、一者応札となつてしまつた案件については、その要因をよく分析の上、改善策を講ずること。	216	103	▲113	-	現状通り	指針・ガイドラインの有効性の向上に努める。一者応札となつてしまつた案件については、その要因を分析し、改善に努める。	新たな成長推進特：10	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費(大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要な経費	内閣府	-	0046	-	-	-	令和元年度対象		
059	地震対策等の推進に必要な経費	平成12年度	-	536	508	453	点検対象外	現状通り	引き続き、一者応札となつてしまつた案件については、その要因をよく分析の上、改善策を講ずること。	514	664	150	-	現状通り	一者応札については、引き続き、余裕のある公示期間の設定や入札説明会の開催等、要件の緩和などに取り組む。改善に努める。	新たな成長推進特：189	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費(大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要な経費	内閣府	-	0047	-	-	-	平成30年度対象		
060	総合防災情報システムの整備経費	平成7年度	-	54	32	53	点検対象外	現状通り	過去の有識者の所見も踏まえ、総合防災システムの機能が適切に実施されているか確認し、予算の適切かつ効率的な執行に努めること。	20	0	▲20	-	現状通り	過去の有識者の所見も踏まえ、今後の展望について検討するとともに、総合防災システムの機能が適切に実施されているか確認し、予算の適切かつ効率的な執行に努めること。	政策推進特：1	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費(大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要な経費	内閣府	-	0048	-	-	-	令和元年度対象		
061	非常災害時発生に伴う現地災害対策等に要する経費	平成12年度	-	183	2,395	882	点検対象外	現状通り	引き続き、一者応札となつた案件については、その要因をよく分析の上、改善策を講ずること。	77	58	▲20	-	現状通り	一者応札となつてしまつた案件については、その要因を分析し、改善に努める。	予備費(2,212百万円)	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費(大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要な経費	内閣府	-	0049	-	-	-	平成29年度対象		
062	災害対策本部予備施設等の維持管理に要する経費	平成12年度	-	110	110	100	点検対象外	現状通り	引き続き、災害対策本部予備施設等の維持管理の「適切性」の検証等について審査されたい。また一者応札については、その要因を分析の上、改善策を講ずること。	100	91	▲9	-	現状通り	災害対策本部予備施設等の維持管理等に当たっては、業務内容を精査し、経費削減に反映させたところ。また、一者応札については、要因を分析し、対策を講ずること。	予備費	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費(大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要な経費	内閣府	-	0050	-	-	-	平成29年度対象		
063	被災者生活再建支援法施行に要する経費	平成11年度	-	600	19,529	7,920	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、引き続き事業の制度内容について適切な検証し、予算の効率的かつ効果的な執行に努めること。	600	600	0	-	現状通り	被災者への迅速な支給については、マイナンバーを活用した住民票の送付不化等により努めているところ。また、申請難の支給がなされたかについては、申請書の受理、とりまとめを行う市町及び都道府県において添付書類の不備を確認するとともに、都道府県から事務を委託されている被災者生活再建支援法人において適正に審査を行い支給している。	予備費(8,205百万円) (反映状況の補足) ・被災者生活再建支援制度の概要 http://www.bousai.go.jp/taisaku/seikatsusiken/pdf/140612gaiyou.pdf	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費(大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要な経費	内閣府	-	0051	-	-	-	前回点検から5年		○
064	南海トラフの巨大地震及び首都圏地下に関する応急対策活動の具体計画策定等検討経費(民間船舶を活用した医療機能の実証訓練経費)	平成24年度	-	154	193	126	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の適切かつ効率的な執行に努めること。一者応札については、その要因をよく分析の上、改善策を講ずること。	83	125	42	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理を行い、競争性を確保した契約を行うことにより予算の効率的かつ適正な執行に努める。一者応札となつてしまつた案件については、その要因をよく分析の上、改善策を講ずること。	新たな成長推進特：50	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費(大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要な経費	内閣府	-	0052	-	-	-	平成30年度対象		
065	防災計画の推進経費	平成24年度	-	10	30	22	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の適切かつ効率的な執行に努めること。	9	9	0	-	現状通り	事業の適切な進捗管理、予算の適切かつ効率的な執行に努めること。	政策推進特：1	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費(大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要な経費	内閣府	-	0053	-	-	-	平成30年度対象		
066	社会全体としての事業継続体制の構築推進経費	平成26年度	-	68	33	37	点検対象外	現状通り	過去の有識者の所見も踏まえ、今後の展望について検討するとともに、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努める。	23	42	19	-	現状通り	有識者の所見も踏まえ、今後の展望について検討するとともに、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努める。	新たな成長推進特：10	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費(大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要な経費	内閣府	-	0054	-	-	-	令和2年度対象		
067	災害救助等に要する経費	平成25年度	-	11,310	22,500	17,399	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、引き続き事業の制度内容について適切な検証し、予算の効率的かつ効果的な執行に努めること。	3,530	3,530	0	-	現状通り	引き続き、事業の制度内容について適切な検証し、予算の効率的かつ効果的な執行に努めること。	予備費(11,189百万円)	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費(大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要な経費	内閣府	-	0055	-	-	-	前回点検から5年		

施策名：11. 原子力災害対策の推進																											
068	原子力災害対策事業	平成26年度	-	4,056	5,090	4,338	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、引き続き専門性の高い分野の入札に関しては、参加可能な事業者の事前調査及び参加要件の緩和を検討すること、一者応札の是正に努めること。	0	0	0	-	現状通り	D、E、Fは民間事業者としての属性は同一であるが、本事業は、事業実施主体(A、B、C)が管理する施設に対する事業であることから、事業実施主体を通じて事業を実施することが執行面から効率的であると考えらる。そのため、借財と同様補助金交付要綱の第4条第1項において交付対象は原子力発電施設に在る都道府県等が行う事業と定めており、同条第6項にて原子力発電施設に在る市町村等が行う間接補助事業に係る経費については当該都道府県が本補助金を対象として間接補助金を交付することと定めている。なお、入札説明会の開催や競争性を高めるために公開性の周知を行うとともに、設計仕様書を公開して参加の容易化を行っているが、引き続き改善策を検討する。	政策統括官(原子力防災担当)	一般会計	(項) 原子力災害対策費(大事項) 原子力災害対策に必要な経費	内閣府	-	0056	-	-	-	前回点検から5年		○

069	原子力発電施設等緊急時安全対策交付金	昭和55年度	-	11,673	11,268	10,338	点検対象外	現状通り	引き続き、専門性の高い分野の入札に関しては、参入可能な事業者の事前調査及び参入要件の緩和を検討するなど、一省応札の是正に努めること。	8,792	16,243	7,452	-	現状通り	引き続き、入札案件の積極的な情報提供を継続するとともに、事業の計画かつ適正な予算執行に向け検討していく。	新たな成長推進特: 4,840	政策統括官(原子力防災担当)	エネルギー対策特別会計電源開発促進	(項) 原子力安全規制対策費(大事項) 原子力の安全規制対策に必要な経費	内閣府	-	0057	-	-	-	-	-	平成30年度対象			○
070	原子力防災体制等構築事業委託費	平成29年度	-	84	46	11	点検対象外	現状通り	引き続き、参入可能な事業者の事前調査及び参入要件の緩和等を検討するなど、一省応札の是正に努めるとともに、事業の計画かつ適正な予算執行に努めること。	22	23	1	-	現状通り	公募案件の周知を行っているが、引き続き、複数の事業者による競争性の確保を図るべく、必要に応じて更なる検討を行う。		政策統括官(原子力防災担当)	エネルギー対策特別会計電源開発促進	(項) 原子力安全規制対策費(大事項) 原子力の安全規制対策に必要な経費	内閣府	-	0058	-	-	-	-	-	平成30年度対象			
071	原子力防災研修事業委託費	平成29年度	-	368	368	314	点検対象外	現状通り	一省応札の現状について、引き続き参入可能な事業者の事前調査及び参入要件の緩和を検討するなど、一省応札の是正に努めること。	431	435	4	-	現状通り	入札説明会の開催や競争性を高めるために公募案件の周知を行うとともに設計仕様書を公開して参入の容易化を行っているが、引き続き改善を継続する。		政策統括官(原子力防災担当)	エネルギー対策特別会計電源開発促進	(項) 原子力安全規制対策費(大事項) 原子力の安全規制対策に必要な経費	内閣府	-	0059	-	-	-	-	平成30年度対象				
072	原子力災害時避難円滑化モデル実証事業	平成30年度	令和4年度	1,500	1,467	1,185	点検対象外	現状通り	引き続き、参入可能な事業者の事前調査及び参入要件の緩和等を検討するなど、一省応札の是正に努めるとともに、事業の計画かつ適正な予算執行に努めること。	1,000	500	▲500	-	現状通り	引き続き、入札案件の積極的な情報提供を継続するとともに、事業の計画かつ適正な予算執行に向け検討していく。		政策統括官(原子力防災担当)	エネルギー対策特別会計電源開発促進	(項) 原子力安全規制対策費(大事項) 原子力の安全規制対策に必要な経費	内閣府	-	0061	-	-	-	-	令和元年度対象			○	
施策名: 1.2. 沖縄振興に関する施策の推進																															
073	沖縄振興交付金事業推進費	平成24年度	令和3年度	101,356	103,571	101,974		現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証する。	98,102	98,102	0	-	現状通り	沖縄振興交付金を活用した事業に係る成果目標の設定については、事業実施主体が、可能な限り定量的に目標を設定するよう努めており、交付申請時において、事業内容とともに成果目標の妥当性等を確認し、必要に応じて適宜目標設定を修正するよう努めており、交付申請時において、事業内容とともに成果目標の妥当性等を確認し、必要に応じて適宜目標設定を修正するよう努めており、事業完了後には、事業実施主体が成果目標の達成状況について評価を行い、公表等を行っている。	新たな成長推進特: 10,996	政策統括官(沖縄政策担当)	一般会計	(項) 沖縄振興交付金事業推進費(大事項) 沖縄振興交付金事業の推進に必要な経費	内閣府	-	0062	-	-	-	-	-	最終実施年度			○
074	沖縄における鉄軌道等導入課題検討に必要な経費	平成24年度	令和3年度	100	100	94		現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証する。	100	100	0	-	現状通り	所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証する。		政策統括官(沖縄政策担当)	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	-	0063	-	-	-	-	-	最終実施年度		○	
075	沖縄振興推進調査費	平成24年度	令和3年度	50	54	41		現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証する。	40	40	0	-	現状通り	政策評価については、内閣府の方針で原則5年に一度となり、点検の際は適切に対応していきたい。本事業は、平成24年度以降の沖縄振興法の下で推進される諸施策への反映や検証等のため必要な調査を実施するものであり、必要かつ適切な事業である。また、事業の有効性・効率性についても適切かつ的確に検証に努めてまいりたい。		政策統括官(沖縄政策担当)	一般会計	(項) 沖縄振興推進調査費(大事項) 沖縄振興推進調査に必要な経費	内閣府	-	0064	-	-	-	-	最終実施年度		○		
076	公立文教施設整備に必要な経費	昭和47年度	-	7,996	7,205	5,254		現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証する。	7,996	5,000	▲2,996	-	現状通り	・執行率が低い理由は、自治体の予算上の都合や競争等により、年度末時点の執行率が見込みを下回ったことによる。(当初見込みの件数について誤りがあったため修正を行った。) ・単位あたりのコストの上昇に係る指摘については、合計金額には前年から繰り越した金額が蓄積されているが、事業開始以前から継続した事業が含まれていないことが要因である。 ・落札率に係る指摘については、職員に対する予算削減行為などの不正行為を防止するため定価格の事前公表を行ったことや、建設需要の重なり等から少数の入札者となったことなどが原因と考えられる。 ・執行状況等を概算要求へ反映し、引き続き、多角的な観点から、事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証に努める。		沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄教育振興事業費(大事項) 公立文教施設整備に必要な経費	内閣府	-	0065	-	-	-	-	最終実施年度		○		
077	医師歯科医師等の派遣に必要な経費	昭和47年度	-	2	2	0		現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、事業実施省庁と権限を明確化したうえで、実施省庁と連携して、事業の進捗を的確に把握し、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証する。	2	2	▲0	-	現状通り	・執行率について、特に令和2年度は、新型コロナウイルスの影響(緊急事態宣言や感染状況)による派遣見送りを行ったこと、その派遣日数減により執行率が低い結果となったが、概算要求においては、最大限の派遣検査を想定して月2日程度(年間合計2日)で計上している。また、費用等削減の内容を見直し、例年より減額での要求としている。 ・派遣の状況については、離島には医師等が不足する場所の特殊性及び条件等を考慮に入れて、国の委託を受けて沖縄振興局が支払うものとするため2種類の委託となっているが、医師の派遣手続については沖縄県にて一元的に行っている。 ・行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、事業実施省庁と連携を密にし、事業の進捗状況の的確な把握を行うとともに、事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証に努める。		沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄保健衛生事業費(大事項) 医師歯科医師等の派遣に必要な経費	内閣府	-	0066	-	-	-	-	前回点検から5年				
078	沖縄北部連携促進特別振興対策特定開発事業費	平成24年度	令和3年度	2,619	2,955	2,724		現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、事業実施省庁と権限を明確化したうえで、実施省庁と連携して、事業の進捗を的確に把握し、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証する。	2,619	2,619	0	-	現状通り	所見を踏まえつつ、事業実施省庁と連携し、より一層事業の有効性・効率性・成果を確保し、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証に努めてまいりたい。		沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄北部連携促進特別振興対策特定開発事業費(大事項) 沖縄北部連携促進特別振興対策に係る特定開発事業の推進に必要な経費	内閣府	-	0067	-	-	-	-	最終実施年度				
079	(建設海岸) 海岸事業調査費	昭和47年度	-	3	0	0		現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、事業実施省庁と権限を明確化したうえで、実施省庁と連携して、事業の進捗を的確に把握し、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証する。	3	3	0	-	現状通り	点検、改善の評価については、ご所見を踏まえ改善した。 沖縄振興局の仕組み(内閣府の役割、事業実施省庁との連携)について、備考欄に記載した。 外部有識者及び行政事業レビュー推進チームのご所見を踏まえ、中間目標の達成に向け、引き続き事業の進捗状況の把握に努めてまいりたい。		沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄開発事業費(大事項) 海岸事業に必要な経費	内閣府	-	0068	-	-	-	-	前回点検から5年		○		
080	(港湾海岸) 海岸事業調査費	昭和47年度	-	4	4	4		現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、事業実施省庁と権限を明確化したうえで、実施省庁と連携して、事業の進捗を的確に把握し、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証する。	4	4	0	-	現状通り	沖縄振興局の仕組み(内閣府の役割、事業実施省庁との連携)について、備考欄に記載した。 企画競争入札における競争性の確保については、類似案件等を参考に改善を図って参りたい。 外部有識者及び行政事業レビュー推進チームのご所見を踏まえ、中間目標の達成に向け、引き続き事業の進捗状況の把握に努めてまいりたい。		沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄開発事業費(大事項) 海岸事業に必要な経費	内閣府	-	0069	-	-	-	-	前回点検から5年		○		

081	水道施設整備に必要な経費	昭和47年度	-	2,800	3,262	3,098	・厚生労働省の資料を見ると、沖縄県の耐震率は全国的にみて遅れ気味であるようであるが、「水道施設の耐震率が本州とほぼ同等であること」を踏まえ、この点について何か対策や工夫は考えられないか。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、事業実施所庁と権限を明確化したうえで、実施所庁と連携して、事業の進捗を的確に把握し、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切な検証に検証するべき。	3,300	2,800	▲ 500	-	現状通り	外部有識者及び行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、事業実施所庁と連携を密にし、事業の進捗状況を的確な把握を行うとともに、新しい施策の異なる層上に向けた対策の検討及び事業の有効性・効率性・成果について適切な検証に努める。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄開発事業費(大事項) 水道施設整備に必要な経費	内閣府	-	0070	-	-	-	-	最終実施年度	-	○
082	廃棄物処理施設整備に必要な経費	昭和47年度	-	1,340	1,350	1,048	・一般廃棄物リサイクル率の目標達成は困難ではないか。 ・「点検・改善結果」において、「地域計画において設定した3R推進のための目標の達成状況については、支出先において事後評価を行う」とあるが、目標達成の目標達成が未定である場合は、可能な限り要因分析を期待したい。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、事業実施所庁と権限を明確化したうえで、実施所庁と連携して、事業の進捗を的確に把握し、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切な検証に検証するべき。	1,340	1,206	▲ 134	-	現状通り	・最終年度の目標達成が未達の場合は、沖縄県や事業実施所庁と連携し、要領の把握に努め、進捗状況を踏まえ、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切な検証に努める。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄開発事業費(大事項) 廃棄物処理施設整備に必要な経費	内閣府	-	0071	-	-	-	-	前年度から6年	-	○
083	良好で静かな都市空間の形成等のための国家公園事業に必要な経費	昭和47年度	-	3,562	4,262	4,252	アウトカム「国家公園の利用者満足度を毎年度88%以上とする。」の設定の根拠を伺いたい。何故、88%以上か。事業名「良好で静かな都市空間の形成等のための国家公園事業に必要な経費」からすれば、満足度として検証するべきは、公園利用者の満足率と観光客・訪問者の満足度であるべき。また、満足度を算定する指標は多岐ある中で、そのひとつとして「満足度の向上が目標であるならば、公園の維持・管理」という要素は二次的考慮事項であるが、予算は、専ら当該事項に支出されている。満足度が低かった事項を確認し、その改善にむき予算を執行するのが正しいアプローチではないか。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、事業実施所庁と権限を明確化したうえで、実施所庁と連携して、事業の進捗を的確に把握し、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切な検証に検証するべき。	3,865	4,416	551	-	現状通り	アウトカムの88%は、国土交通省の全国の国家公園等事業の目標設定でない。全国の国家公園の平成29年度における利用者満足度の達成目標の平均値として設定している。今後も事業の進捗を的確に把握するための目標設定を行い、事業の有効性・効率性・成果について適切な検証に検証していく。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄開発事業費(大事項) 良好で静かな都市空間の形成等のための国家公園事業に必要な経費	内閣府	-	0072	-	-	-	-	最終実施年度	-	○
084	森林整備事業に必要な経費	昭和47年度	-	292	298	288	・着実に計画を達成しそうな見込みである点については高く評価できる。 ・コロナの影響があったか。 ・あつた場合には説明しておく必要はないか。 ・「関連事業」ところに農林水産省、沖縄県との連携を記載した方がよいのではないか。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、事業実施所庁と権限を明確化したうえで、実施所庁と連携して、事業の進捗を的確に把握し、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切な検証に検証するべき。	294	288	▲ 6	-	現状通り	・事業実施主体に確認したところ、現時点でコロナの影響はなかった。 ・事業の推進に当たっては、下記備考のとおり、事業の経費を内閣府に一併計上し、これを農林水産省に移して執行していることから、農林水産省と連携し、事業の進捗状況を的確に把握した上で、推進して参る所存。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄開発事業費(大事項) 森林整備事業に必要な経費	内閣府	-	0073	-	-	-	-	最終実施年度	-	○
085	治山事業に必要な経費	昭和47年度	-	363	398	388	・「防風・防雨・防雪・防砂」について、目標達成率については高く評価できる。 ・「防砂」の項目に農林水産省、沖縄県との役割分担については書いておいた方がよいのではないか。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、事業実施所庁と権限を明確化したうえで、実施所庁と連携して、事業の進捗を的確に把握し、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切な検証に検証するべき。	363	356	▲ 7	-	現状通り	・治山事業の実施については、季節風や台風による崩壊等を受けた箇所や、差雨等による山地の崩壊箇所について、被害状況や被災の被害等を踏まえて実施しているところであり、その様な事業が必要な箇所を積み上げたところ、令和2年度までの達成率は高いと見込んでいる。このため、令和3年度の進捗を踏まえ、引き続き事業を推進して参る所存。 ・事業の推進に当たっては、下記備考のとおり、事業の経費を内閣府に一併計上し、これを農林水産省に移して執行していることから、農林水産省と連携し、事業の進捗状況を的確に把握した上で、推進して参る所存。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄開発事業費(大事項) 治山事業に必要な経費	内閣府	-	0074	-	-	-	-	前年度から6年	-	○
086	水産基盤整備に必要な経費	平成13年度	-	4,218	3,630	3,613	アウトカムで示された数値(75%、85%、100%)が算出された客観的根拠を示されたい。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、事業実施所庁と権限を明確化したうえで、実施所庁と連携して、事業の進捗を的確に把握し、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切な検証に検証するべき。	4,962	4,356	▲ 606	-	現状通り	・アウトカムに示した成果目標の客観的根拠は、沖縄21世紀ビジョン実施計画の基本施策3-7(7)「変動性気候等生きた農林水産業の振興【施策展開】3-7(7)「一歩進め・高し」に適合した農林水産業の発展に向けた取組」により、事業の推進に当たっては、下記備考のとおり、事業の経費を内閣府に一併計上し、これを農林水産省に移して執行していることから、農林水産省と連携し、事業の進捗状況を的確に把握した上で、推進して参る所存。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄開発事業費(大事項) 水産基盤整備に必要な経費	内閣府	-	0075	-	-	-	-	最終実施年度	-	○
087	農業農村整備事業に必要な経費	昭和47年度	-	17,157	15,813	15,769	アウトカムが不明確。かかんが施設につき、目標値がないのに、なぜ達成率が突出しているのか。実施地区数については、目標値はないのか。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、事業実施所庁と権限を明確化したうえで、実施所庁と連携して、事業の進捗を的確に把握し、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切な検証に検証するべき。	14,352	12,639	▲ 1,713	-	現状通り	沖縄21世紀ビジョン実施計画では農林水産省の振興を基本施策に掲げ、農林水産産出物の生産にむいた施策の一つとして、沖縄の特性に応じた農業生産基盤の整備を、かかんが施設整備等を成果指標に置きつつ進めてきた。新たな沖縄県計画においても持続可能な農林水産業の振興が基本施策として検討されており、この成果指標も踏まえたが、事業進捗を的確に把握し、有効性について検証しつつ引き続き推進して参る所存。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄開発事業費(大事項) 農業農村整備事業に必要な経費	内閣府	-	0076	-	-	-	-	最終実施年度	-	○
088	社会資本総合整備事業に必要な経費(社会資本整備総合交付金)	平成22年度	-	15,895	14,844	14,780	・「P-P-P-F」の活用等については内外で様々な問題が指摘されているところであるが、問題はないか。 ・平成28年度より、「費用収益比(B>C)」の算出の要約化、「不平等・未契約締結率の把握」「公衆等の制度の見直し」「重点配分対象の明確化」に着手されているとのことであるが、この点は高く評価したい。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、優先度の高い事業・計画に対して十分な支援ができるよう、引き続き必要な改善策を検討し、対策を講じられたい。	15,980	14,521	▲ 1,459	-	現状通り	沖縄開発予算の仕組み(内閣府の役割、事業実施所庁との連携)について、備考欄に記載した。 外部有識者及び行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き優先度の高い事業・計画に対して支援が出来るよう、「P-P-P-F」の活用等」における配慮を含め必要な改善策の検討、対策に努めた。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄開発事業費(大事項) 社会資本総合整備事業に必要な経費	内閣府	-	0077	-	-	-	-	前年度から6年	-	○
089	社会資本総合整備事業に必要な経費(防災・安全社会資本整備交付金)	平成24年度	-	5,255	4,838	4,793	・備蓄に行政事業レビューでの指摘事項を整理されている点について、FDCAの進捗の観点から、高く評価したい。 ・平成28年度より、「費用収益比(B>C)」の算出の要約化、「不平等・未契約締結率の把握」「公衆等の制度の見直し」「重点配分対象の明確化」に着手されているとのことであるが、この点は高く評価したい。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、優先度の高い事業・計画に対して十分な支援ができるよう、引き続き必要な改善策を検討し、対策を講じられたい。	4,332	3,730	▲ 602	-	現状通り	沖縄開発予算の仕組み(内閣府の役割、事業実施所庁との連携)について、備考欄に記載した。 外部有識者及び行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き優先度の高い事業・計画に対して支援が出来るよう、必要な改善策の検討、対策に努めた。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄開発事業費(大事項) 社会資本総合整備事業に必要な経費	内閣府	-	0078	-	-	-	-	前年度から6年	-	○
090	沖縄開発事業(旧社会資本整備事業特別会計上分)	平成26年度	-	69,267	61,610	61,469	点検対象外	現状通り	事業実施所庁と権限を明確化したうえで、実施所庁と連携して、事業の進捗を的確に把握し、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切な検証に検証するべき。	64,241	57,501	▲ 6,741	-	現状通り	沖縄開発予算の仕組み(内閣府の役割、事業実施所庁との連携)について、備考欄に記載した。 行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、引き続き事業の進捗状況を的確に把握し、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切な検証に検証するべき。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄開発事業費(大事項) 河川整備事業に必要な経費(大事項) 砂防事業に必要な経費(大事項) 地域連携道路事業に必要な経費(大事項) 道路更新防犯対策事業及び維持管理に必要な経費(大事項) 道路交通円滑化事業に必要な経費(大事項) 港湾事業に必要な経費(大事項) 道路環境改善事業に必要な経費(大事項) 道路交通安全対策事業に必要な経費	内閣府	-	0079	-	-	-	-	令和2年度対象	-	○
091	駐留用地跡地利用推進に必要な経費	平成9年度	令和3年度	255	255	129	本事業で扱われている「跡地」の箇所は限られていること、これまでこの対象の対応は「重要配分」に基づき、当該の状況を踏まえて、事業内容及び予算額のスリム化を図るべきではないか。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、事業の有効性・効率性・成果について適切な検証に検証するのととも、予算の効率的執行に努め、執行実績も踏まえ概算要求へ反映させるべき。	254	243	▲ 11	-	現状通り	所見を踏まえ、事業の有効性・効率性・成果について適切な検証に検証するのととも、予算の効率的執行に努め、執行実績も踏まえ概算要求を行った。	政策統括官(沖縄政策担当)	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	-	0080	-	-	-	-	最終実施年度	-	○
092	沖縄の特殊事情に伴う特別対策に必要な経費(沖縄振興開発金融公庫・補助金)	昭和48年度	-	695	695	691	点検対象外	現状通り	引き続き多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切な検証に検証するべき。	2,025	6,673	4,648	-	現状通り	本事業(補助金)については、将来予測を含め年度決算見込みが確定の基礎となるため、新型コロナウイルス感染症等を含め必然的に不確実性を伴う事象があることから、予算額の精緻化が困難な面があること、予算執行の遅延等による見直し等による見直し等(過去の貸付実績や将来の借入コストの見直し等)を多角的な観点から検証するなど、進展し通一の層の精度向上に努めている。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	-	0081	-	-	-	-	令和元年度対象	-	○

093	沖縄の特殊事情に伴う特別対策に必要な経費 (沖縄振興開発金融公庫に対する出資金に必要な経費)	平成14年度	-	134,100	27,960	27,960	点検対象外	現状通り	引き続き多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証するべき。	0	0	0	-	現状通り	引き続き、多角的な観点から事業を検証しつつ、沖縄の産業振興及び雇用創出に対し十分な効果が図られるよう、沖縄公庫による新事業創出者に対して積極的に支援する。なお、事業創出のための出資に十分な残高があることから、令和4年度においては新事業創出促進出資のための要求は行わない。一方、新型コロナウイルス感染症対策に係る中小企業・小規模事業者等の資金繰り支援を行うため、必要額を要望することとする。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	-	0082	-	-	-	-	-	令和元年度対象				
094	沖縄の子供の貧困対策に必要な経費	平成28年度	令和3年度	1,437	1,437	1,241		現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証するべき。	1,460	1,852	392	-	現状通り	・所見を踏まえ、沖縄県等と連携し、アンケートや指標を含む当該事業内容を多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証する。 ・経費要求にあつては、事業の進捗状況等を把握したうえで、これまでの執行状況を踏まえた適正額となるよう求める。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	-	0083	-	-	-	-	-	最終実施年度			○	
095	沖縄科学技術大学院大学学園に必要な経費	平成23年度	-	23,348	22,473	22,423	点検対象外	現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、目標の達成を促すことからも、国費投入額に合わせた研究の成果等が具体化できるような検証を実施する。また、沖縄科学技術大学院大学学園法施行後10年(令和3年)を目途として検討されている内容について、成果目標等に適切に反映できるよう取り組んでいただきたい。	19,004	22,394	3,390	-	現状通り	学園法の施行後10年の学園法施行状況等については、内閣府特命担当大臣の所見を有識者が構成される検討会において、概ね良好であるとの評価を得られ、国は一定の閉鎖性維持を確保することにより、閉鎖性を維持し、引き続き事業の進捗状況等を把握し、必要額を要望することとする。	新たな成長推進特:5,645	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	-	0084	-	-	-	-	-	平成30年度対象			○
096	沖縄北部連携促進特別振興事業費	平成24年度	令和3年度	3,450	2,188	2,054		現状通り	事業の趣旨、目的は理解できる。なお、改善の方向性に事業終了後のフォローアップ計画、長期的社会環境影響評価もお願いしたい。	3,450	4,450	1,000	-	現状通り	所見を踏まえ、事業の適切なフォローアップのフォローアップ計画、長期的社会環境影響評価もお願いしたい。	新たな成長推進特:1,000	政策統括官(沖縄政策担当)	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	-	0085	-	-	-	-	最終実施年度			○	
097	沖縄の戦後処理対策に必要な経費	昭和50年度	-	3,068	3,194	3,032		現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証するべき。	2,774	2,796	22	-	現状通り	本事業については、戦後処理問題の解決を図ることを目的としており、総合的に検証する必要があることから、1つの行政事業レビューシートに記載している。また、位置づけ明確化事業及び所有権不明土地問題等については、戦後処理対策(アウटकム)に直結させることが難しい状況である。より一層事業の有効性・効率性について検証できるよう、検討してまいりたい。戦後処理対策予算の次年度を占める不発弾等処理事業において、令和4年度経費要求は令和3年度予算と同程度を要求している。これは近年の執行実績を踏まえつつ、県・市町村とも調整を行い、不発弾等をより効率的に処理するための必要な経費として要求しているもの。他の事業についても、沖縄県等と進捗状況を把握し、必要額を要求している。	沖縄不発弾等事前調査データベースシステムの経費については、令和4年度経費要求からデジタル庁にて予算計上。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	-	0086	-	-	-	-	-	最終実施年度			○
098	沖縄・地域安全パトロール事業	平成28年度	-	868	868	852	点検対象外	現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求へ反映させるべき。	730	730	0	-	現状通り	引き続き、事業の有効性・成果について適切に検証する(成果目標・指標についても、より適切な検証を可能とするため、代替指標を追加)。また、引き続き関係機関との連携を密にし、予算の効率的執行に努めるとともに、執行実績も踏まえ概算要求を行った。	政策統括官(沖縄政策担当)	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	-	0087	-	-	-	-	平成30年度対象					
099	沖縄県発見創造事業	平成29年度	令和3年度	70	70	59		現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証するべき。	59	70	▲59	-	現状通り	・沖縄県以外にはない補助金や税制優遇措置は、沖縄におけるビジネスに優位性を感じつつも、ビジネス拠点開設等に伴う投資負担により沖縄への進出を断念する企業を後押しするものと考え、成長力創出促進、気候の特徴、国際物流拠点とあいまって、沖縄でのビジネス開始に向けたインセンティブとなるものと考えている。 ・事業の短期的目的は一定程度達成されたが判断したため本年度(令和3年度)を事業最終年度とするが、引き続き、アンケート調査の検証等を踏まえ事業の有効性・成果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努める。	政策統括官(沖縄政策担当)	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	-	0088	-	-	-	-	最終実施年度					
100	沖縄国際物流拠点活用推進事業	平成29年度	令和3年度	939	1,112	1,099		現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証するべき。	915	0	▲915	-	予定通り終了	・平成29年度に本事業を活用した事業者における製品の外輸出額は、平成30年度(基準年度)を100%として、令和3年度において215%に拡大しており、アウटकムの達成に向け、進捗が良好に推移している。 ・最終的なアウटकムの達成状況については、事業終了後も引き続きフォローアップの上、確認して参る所存。	政策統括官(沖縄政策担当)	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	-	0089	-	-	-	-	最終実施年度			○		
101	沖縄型産業人材育成事業	平成29年度	令和3年度	334	334	298		現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証するべき。	328	0	▲328	-	予定通り終了	事業終了後のフォローアップ調査を実施しており、今後、受講者の所属する企業に対するアンケート項目についても検討していく。	政策統括官(沖縄政策担当)	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	-	0090	-	-	-	-	最終実施年度					
102	沖縄離島活性化推進事業	平成29年度	令和3年度	1,480	1,790	859		現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証するべき。	1,480	2,480	1,000	-	現状通り	成果実績については、事業実施の効果が後年度に発現するため、成果目標年度が事業実施年度の後年度に設定されている事業が多いことから、現在、成果目標年度が経過している事業について、進捗の把握が図られているか整理・分析を行っているところである。 次年度以降も制度を継続する場合には、有識者の所見も踏まえ、目標値や達成度を設定し、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確な検証に努める。	新たな成長推進特:1,000	政策統括官(沖縄政策担当)	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	-	0091	-	-	-	-	最終実施年度			○	
103	沖縄規模別島生活整備推進事業	令和2年度	令和3年度	1,069	637	411		現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証するべき。	1,069	1,069	0	-	現状通り	次年度以降も制度を継続する場合には、有識者の所見も踏まえ、事業内容やコスト等について、必要に応じて、引き続き、適切に検証を行う等、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確な検証に努める。	政策統括官(沖縄政策担当)	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	新2	-	0006	-	-	-	前年度新規			○		
104	沖縄テレワーク推進事業	令和2年度	令和3年度	341	299	238		現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証するべき。	301	0	▲301	-	予定通り終了	所見を踏まえ、事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証してまいりたい。	政策統括官(沖縄政策担当)	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	新2	-	0007	-	-	-	前年度新規			○		
105	沖縄の人材育成推進に必要な経費	平成30年度	-	183	183	99		現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証するべき。	156	72	▲84	-	現状通り	事業実施機関等と連携し、事業の進捗状況の把握に努めるとともに、指標のより一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証を行い、効率的な予算の執行や概算要求への反映に努める。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	-	0092	-	-	-	-	最終実施年度			○		
106	交通モード多様化事業推進に必要な経費	平成30年度	令和3年度	10	10	-	点検対象外	現状通り	昨年引き続き執行できなかったことを踏まえ、事業の円滑な進捗となるよう進捗状況の把握に努め、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証するべき。	4	0	▲4	-	執行改善	関係者による意見交換のとりまとめ状況や執行状況に鑑み、令和4年度予算については概算要求を行わないこととする。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	-	0093	-	-	-	-	令和元年度対象			○		

107	沖縄職業振興対策事業に必要な経費	平成30年度	-	1,183	1,041	846	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証すべき。	1,002	715	▲ 287	-	現状通り	製糖業に必要な人材の確保・育成等の取組は進捗しており、外部有識者の所見を踏まえ単位当たりコスト算出方法を検討しつつ、より一層事業の有効性・効率性について検証し、適切に事業実施を図っていくことといたします。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	- 0094 -	-	-	-	-	-	最終実施年度	○			
108	沖縄の酒類製造業の自立的経営の促進に必要な経費	平成30年度	令和3年度	142	142	128	点検対象外	現状通り	引き続き多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証すべき。	142	0	▲ 142	-	執行等改善	事業の有効性・効率性等を考慮し、事業者支援に係る概算要求に包含することとする。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	- 0095 -	-	-	-	-	-	令和2年度対象	○		
109	沖縄国立大学法人施設整備に必要な経費	平成30年度	令和6年度	14,370	13,082	12,800	点検対象外	現状通り	事業実施進捗と検証を明確化したうえで、実施進捗と照らし、事業の進捗状況を踏まえ、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証すべき。	9,457	16,283	6,805	-	現状通り	事業実施進捗と連携し、事業進捗状況の的確な把握・効率性等を考慮し、事業者支援に係る概算要求に包含することとする。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄国立大学法人施設整備に必要な経費	内閣府	- 0096 -	-	-	-	-	-	令和元年度対象	○		
110	沖縄観光防災力強化支援事業	令和元年度	令和3年度	950	950	920	現状通り	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証すべき。	950	0	▲ 950	-	予定通り終了	アウトカムは、各市町村の整備計画に基づき、本事業の交付申請が行われた市町村数を計上している。本事業を計画的に活用していたため結果、観光避難民を想定した食料、水、毛布、災害トイレ等の整備率が令和3年度末には概ね8〜9割整備され、一定の成果をあげたと考えられる。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	- 0097 -	-	-	-	-	-	最終実施年度	○		
111	交通環境創造推進事業	令和元年度	令和2年度	125	125	121	点検対象外	終了予定	本事業は令和2年度で終了となったが、早急に効果性の高いフォローアップに努め、事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、今後の同種事業実施につなげることを。	0	0	0	-	予定通り終了	行政事業レビュー推進チームのご所見を踏まえ、事業の有効性・効率性・成果について検証し、今後の同種事業につなげていく。	沖縄振興局	一般会計	(項) 沖縄政策費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	- 0098 -	-	-	-	-	-	令和2年度対象	○		
112	沖縄振興特定事業推進費	令和元年度	令和3年度	7,000	7,388	5,099	現状通り	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証すべき。	8,500	8,000	▲ 500	-	現状通り	沖縄振興特定事業推進費の民間事業については、①沖縄の振興に資するものであること、②沖縄の特性に適合するものであること、③公共性を満たすものであること、④先導性又は広域性を有するものであること、⑤持続可能な事業となること、⑥地域活性化に寄与するものであること、⑦申請があった事業に対して当該要件を満たしているかを厳正に審査し、支出を決定している。次年度以降も制度を継続する場合には、有識者の所見を踏まえ、より一層事業の有効性・効率性について適切かつ的確に検証し、今後の同種事業実施につなげることを。	政策統括官(沖縄政策担当)	一般会計	(項) 沖縄振興特定事業推進費(大事項) 沖縄政策の推進に必要な経費	内閣府	- 0099 -	-	-	-	-	-	最終実施年度	○		
施策名：1.3 子ども・若者育成支援推進大綱の作成・推進																													
113	子供・若者育成支援推進経費	昭和41年度	-	207	207	122	点検対象外	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。	198	257	59	-	現状通り	所見を踏まえ、効果的・効率的な事業の実施に努めるとともに、概算要求においては、当該執行実績を適切に反映させた要求内容とした。	政策統括官(政策調整担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費(大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0100 -	-	-	-	-	-	令和元年度対象			
施策名：1.5 高齢社会対策大綱の作成・推進																													
114	高齢社会対策推進経費	昭和49年度	-	64	64	58	現状通り	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、一者応礼の要因分析と解消に向けた取り組みを行い、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。	31	36	5	-	現状通り	令和2年度調査は公示期間が58日と十分確保されており、一者応礼に届かなかった原因については、当該調査が日本全体の4カ国における国際比較調査であったことから、専門的な知見と実績が求められたことが要因の一つであると考えられる。今後も、引き続き公示期間の十分な確保に努めるなど一者応礼の解消に取り組んで参りたい。また、ご指摘の点については、4の年については、契約時期にずれがあることから別々の契約としているが、所見を踏まえ、同時期に実施することを検討して参りたい。	政策統括官(政策調整担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費(大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0101 -	-	-	-	-	-	前年度検から5年			
施策名：1.6 障害者基本計画の策定・推進																													
115	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進経費	平成14年度	-	3	3	3	現状通り	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、アウトカム指標について検証を行い、必要に応じて修正すること。事業については、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。	3	3	▲ 0	-	現状通り	アウトカム指標1及び2の「表彰の推薦数」及び「ホームページのアクセス数」については、「バリアフリーに関する関係機関会議」において決定された表彰要領において、表彰の目的をバリアフリー・ユニバーサルデザインの普及と定めていることから、一層の普及により、推薦数及びアクセス数を増やすこととする。アウトカム指標3の「心のバリアフリー推進状況」については、「バリアフリーに関する関係機関会議」において決定された「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要領」において定められた目標値であり、引き続き、心のバリアフリーが推進されるよう、普及・啓発に努めることとする。引き続き、効果的・効率的な事業の実施等に努めるとともに、概算要求については、執行実績を踏まえ、真に必要な経費について精査を行い、前年度予算額を超えないものとした。	政策統括官(政策調整担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費(大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0102 -	-	-	-	-	-	前年度検から5年			
116	障害者施策推進経費	昭和56年度	-	99	99	59	現状通り	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、アウトカム指標について検討し、必要に応じて見直しを行うこと。事業については、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。	124	122	▲ 2	-	現状通り	所見も踏まえて、必要に応じて適切なアウトカム指標を検討してまいりたい。また、審議についても、引き続き、効果的・効率的な事業の実施等に努めてまいりたい。	政策統括官(政策調整担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費(大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0103 -	-	-	-	-	-	前年度検から5年			
施策名：1.7 交通安全基本計画の作成・推進																													
117	交通安全対策推進経費	昭和45年度	-	83	83	51	点検対象外	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。	78	91	13	-	現状通り	引き続き効果的・効率的な事業の実施に努めて参りたい。	政策統括官(政策調整担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費(大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0104 -	-	-	-	-	令和2年度対象				
施策名：1.8 子どもの貧困対策大綱の作成・推進																													
118	子どもの貧困対策調査研究等経費	平成26年度	-	153	148	79	点検対象外	現状通り	令和2年度の秋のレビューでの指摘事項を踏まえた事業の取組としつつ、効果的・効率的な事業の実施に努めるとともに、効率的に執行した実績を概算要求に反映させること。	140	254	114	-	現状通り	令和2年度の秋のレビューで、国が主導して、プッシュ型支援を実現するため、データベースに関する連携プログラムを構築するよう指摘を受けたことを踏まえ、令和3年度に引き続き、貧困状態の子供の支援のための調査・検証等データベースの構築等に向けた実証調査研究(仮称)を行うための経費について新たに概算要求を行った。引き続き、効果的・効率的な事業の実施等に努めてまいりたい。	政策統括官(政策調整担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費(大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0105 -	-	-	-	-	令和元年度対象				
119	子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業(地域子供の未来応援交付金)	平成27年度	-	301	274	147	点検対象外	現状通り	令和2年度に予備費で増額を行い、併せて交付事業の取組と併せて、執行率の改善がみられるものの、依然として未利用額も多い為、予算規模の適正性の検証も求め、引き続き未利用の見直しなどを行い、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	150	1,655	1,505	-	現状通り	引き続き、地方自治体向け説明会等(オンラインを含む)により、交付金の活用事例及び事業効果を説明し積極的な活用を促すことに加え、地方自治体からの要望や課題などにも寄り添って対応し、引き続き、効果的・効率的な事業の実施等に努めてまいりたい。地方自治体により使いやすい交付金にすることで、今後も効果的・効率的な事業の実施に努めることとする。	政策統括官(政策調整担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費(大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0106 -	-	-	-	-	-	平成30年度対象	○		
施策名：1.9 青年国際交流の推進																													
120	青年国際交流経費	昭和34年度	-	123	123	91	点検対象外	現状通り	アウトカムが事業終了1年後の者へのアンケート結果を指標としていることから、コロナ禍で影響を受けた令和2年度の事業の参加者からのアンケートの結果が影響する本年度についての結果を注視しつつ、引き続き一者応礼の取組に向けた取組を行い適切な取組に努めること。	1,383	1,353	▲ 30	-	現状通り	今回、事業参加から5年後の実績に関する指標の追加を行ったことで、更なるアウトカムの結果が注視しやすくなり、引き続き、効果的・効率的な事業の実施・推進に努めて参りたい。	政策統括官(政策調整担当)	一般会計	(項) 共生社会政策費(大事項) 共生社会政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0107 -	-	-	-	-	-	令和2年度対象			

施策名：2.0. 男女共同参画基本計画の作成・推進																												
121	男女共同参画に関する普及・啓発に必要な経費	平成6年度	-		30	34	38	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、媒体について検討するとともに、引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めること。	35	43	8	-	現状通り	令和3年3月に世界経済フォーラムが公表したジェンダー・ギャップ指数は156か国中120位と先進国の中でも極めて低い水準である。男女共同参画社会の形成を推進するためには、現状のツールを最大限活用することは極めて重要なことである。ホームページへのアクセスに関しては、ホームページに各各種媒体についても、調査結果を立ち、どうすれば進んでいけるか、調査を持ってもらえるかなど、順に対応することから応答することを意識し、例えば、「共同参画」のリニューアル、縦横両方向のメールマガジンの取組も進めている。ホームページのアクセス数などはそれぞれの各事業の一つの結果である。その他、各種取組等についても、同様国民目線に立って日々改善に取り組みしている。現状の予算を考慮しても、少ない予算の中様々な工夫をして適切な執行に努めている。	新たな成長推進特：4	男女共同参画局	一般会計	(項) 男女共同参画社会形成促進費(大事項) 男女共同参画社会の形成の促進に必要な経費	内閣府	-	0108	-	-	-	-	前年度時から5年	
122	男女共同参画を促進するための地方公共団体・民間団体等との連携に必要な経費	平成13年度	-		45	37	23	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、実施方法や成果分析等を検討するとともに、引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めること。	41	52	11	-	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、実施方法や成果分析等を検討し、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めること。	新たな成長推進特：1.257	男女共同参画局	一般会計	(項) 男女共同参画社会形成促進費(大事項) 男女共同参画社会の形成の促進に必要な経費	内閣府	-	0109	-	-	-	-	前年度時から5年	
123	国際交流・国際協力の促進に必要な経費	平成12年度	-		96	96	58	点検対象外	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めること。	81	67	▲15	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理を行うとともに、予算の効率的な執行に努めることとする。		男女共同参画局	一般会計	(項) 男女共同参画社会形成促進費(大事項) 男女共同参画社会の形成の促進に必要な経費	内閣府	-	0110	-	-	-	-	令和2年度対象	
124	女性に対する暴力の根絶に向けた取組に必要な経費	平成16年度	-	1,710	944	804	点検対象外	現状通り	引き続き、目標達成に向けたより効果的な事業手法を検討するとともに、一者応札の是正に努めること。	559	1,760	1,201	-	現状通り	引き続き、目標達成に向けたより効果的な事業の実施に努めるとともに、一者応札の是正に向けて推進における競争性の確保に努める。	新たな成長推進特：1.257	男女共同参画局	一般会計	(項) 男女共同参画社会形成促進費(大事項) 男女共同参画社会の形成の促進に必要な経費	内閣府	-	0111	-	-	-	-	令和2年度対象	
125	女性の参画の拡大に向けた取組に必要な経費	平成9年度	-		65	65	48	点検対象外	現状通り	一者応札の現状について、引き続き参入可能な事業者の事前調査及び参入条件の緩和を検討するなど、一者応札の是正に努めること。	80	77	▲4	-	現状通り	一者応札案件については、所見を十分踏まえ、引き続き是正に努める。		男女共同参画局	一般会計	(項) 男女共同参画社会形成促進費(大事項) 男女共同参画社会の形成の促進に必要な経費	内閣府	-	0112	-	-	-	-	令和2年度対象
126	女性活躍促進に向けた取組に必要な経費	平成25年度	-		300	280	236	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めること。	150	1,163	1,013	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めること。	コロナ予算費(1,350百万円) 新たな成長推進特：1,063	男女共同参画局	一般会計	(項) 男女共同参画社会形成促進費(大事項) 男女共同参画社会の形成の促進に必要な経費	内閣府	-	0113	-	-	-	-	令和2年度対象
127	仕事と生活の調和の推進に必要な経費	平成20年度	-		19	19	4	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めること。	20	15	▲5	-	現状通り	所見を踏まえ、引き続き事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な執行に努めること。		男女共同参画局	一般会計	(項) 男女共同参画社会形成促進費(大事項) 男女共同参画社会の形成の促進に必要な経費	内閣府	-	0114	-	-	-	-	令和元年度対象
128	男女共同参画基本計画改定	令和2年度	令和2年度		10	10		終了予定	外部有識者の所見を踏まえ、今後、同様の事業を実施する際は、当該事業の知見を最大限生かして、効率的・効果的な事業の実施に努めること。	0	0	0	-	予定通り終了	今回の計画改定においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、公聴会をオンラインで開催したことにより、対面での意見聴取を行うことはできなかったが、地場的な制約を踏まえて参加を促され、参加者から好評であった。次回の計画改定に当たっても、所見も踏まえ、効率的・効果的な事業の実施に努める。		男女共同参画局	一般会計	(項) 男女共同参画社会形成促進費(大事項) 男女共同参画社会の形成の促進に必要な経費	内閣府	新2	-	0008	-	-	-	前年度新規	
施策名：2.1. 食品健康影響評価に関する施策の推進																												
129	食品健康影響評価技術の研究に必要な経費	平成17年度	-	199	152	125	点検対象外	現状通り	引き続き、効率的・効果的な事業の実施に努めることとし、効率的に執行した実績及び不用品が生じていることを踏まえ概算要求に反映させること。	200	203	4	-	現状通り	引き続き、外部専門家を含む「研究・調査企画会議」による事前評価や経費・使途の確保が実現した研究費の確保を実施し、競争的資金制度の創設を踏まえ、適正に事業を実施する。	新たな成長推進特：72	食品安全委員会	一般会計	(項) 食品安全政策費(大事項) 食品健康影響評価技術の研究に必要な経費	内閣府	-	0115	-	-	-	-	令和元年度対象	
130	リスクコミュニケーション実施経費	平成15年度	-	26	26	9	点検対象外	現状通り	毎年不用品が生じていることから、過年度執行実績等を分析し、適切に概算要求に反映させること。	24	24	▲0	-	現状通り	昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、人を集めて実施するリスクコミュニケーションが実施できなかったことから不用品がなくなった。本年度は新型コロナウイルス感染症の状況を十分考慮しながら対面のほか、Web会議、動画配信等、インターネットを積極的に活用するなどして引き続き科学的知見に基づくリスク評価(食品中の毒性はどの程度なのか、どのくらいなら食べても健康に影響がないのか等)についてのリスクを評価し、効率的かつ適正な予算の執行に努める。		食品安全委員会	一般会計	(項) 食品安全政策費(大事項) 食品安全の確保に必要な経費	内閣府	-	0116	-	-	-	平成30年度対象		
施策名：2.2. 公益法人制度改定等の推進																												
131	公益法人制度の適正な運営の推進に必要な経費	平成19年度	-	234	156	144	点検対象外	現状通り	一者応札の現状について、引き続き参入可能な事業者の事前調査及び参入条件の緩和を検討するなど、一者応札の是正に努めること。	155	44	▲111	-	現状通り	一者応札の現状について、引き続き参入可能な事業者の事前調査及び参入条件の緩和を検討するなど、一者応札の是正に努める。		公益認定委員会	一般会計	(項) 公益法人制度適正運営推進費(大事項) 公益法人制度の適正な運営の推進に必要な経費	内閣府	-	0117	-	-	-	-	平成29年度対象	
施策名：2.3. 経済社会総合研究所の推進																												
132	経済社会活動の総合的研究に必要な経費	平成12年度	-	497	497	386	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の適切な執行に努めること。	482	392	▲90	-	現状通り	所見を踏まえ、引き続き必要な経費を要求し、事業の適切な進捗管理、適切な執行に努める。	新たな成長推進特：39	経済社会総合研究所	一般会計	(項) 経済社会総合研究所(大事項) 経済社会活動の研究等に必要な経費	内閣府	-	0118	-	-	-	-	令和元年度対象	
133	国民経済計算に必要な経費	平成12年度	-	147	147	101	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、指標化について検討するとともに、一者応札の現状について、引き続き参入可能な事業者の事前調査及び参入条件の緩和を検討するなど、一者応札の是正に努めること。	147	125	▲22	-	現状通り	入札の実施にあたっては、引き続き市場価格の確保が実現した研究費の確保などにより、一者応札の是正に努めていた。		経済社会総合研究所	一般会計	(項) 経済社会総合研究所(大事項) 経済社会活動の研究等に必要な経費	内閣府	-	0119	-	-	-	-	前年度時から5年	
134	経済研究所運営に必要な経費	平成12年度	-	9	9	2	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な予算執行に努めること。	9	9	0	-	現状通り	受講者アンケート等を踏まえ適宜、事業の見直しを行い、引き続き効率的かつ効果的な事業運営および予算執行に努める。		経済社会総合研究所	一般会計	(項) 経済社会総合研究所(大事項) 経済社会活動の研究等に必要な経費	内閣府	-	0120	-	-	-	-	平成29年度対象	
施策名：2.4. 遊覧施設の適切な管理・運営																												
135	赤坂遊覧船参観経費	平成28年度	-	811	811	468	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、新たな参加者開拓、及びリピーター獲得方法の検討をすること。また、平成28年度公開プロセスにおける指標を踏まえ、効率的かつ効果的な参観手法の在り方、参観料の設定手法等の検討、中長期的な観点から新たな参観客層の確保に向けた検討を継続して行うとともに、効率的・効果的な事業を実施し、不用品も踏まえ、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	760	639	▲122	-	現状通り	新たな参観客開拓及びリピーターの増加に向けて、季節等に合わせた特別企画を引き続き実施し、地方からの参観客を呼び込むためのコンテンツ作成により新たな参観客の確保を図るとともに、様々な経路の接続を、効率的かつ効果的な参観手法のあり方の検討を行う。また、運営等業務について、人員の配置の見直し等により効率的・効果的な事業の実施に努める。	遊覧船参観応酬システムの経費については、令和4年度概算要求からデジタル庁にて予算計上。	遊覧船	一般会計	(項) 遊覧施設運営費(大事項) 遊覧施設運営に必要な経費	内閣府	-	0121	-	-	-	-	前年度時から5年	
136	京都遊覧船参観経費	平成28年度	-	274	274	100	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、新たな参加者開拓、及びリピーター獲得方法の検討をすること。引き続き、平成28年度公開プロセスにおける指標を踏まえ、効率的かつ効果的な参観手法の在り方、参観料の設定手法等の検討、中長期的な観点から新たな参観客層の確保等に向けた検討を継続して行うとともに、効率的・効果的な事業を実施し、不用品も踏まえ、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	254	250	▲4	-	現状通り	新たな参観客の開拓及びリピーターの増加につなげるよう、季節等に合わせた特別企画や旅行代店とタイアップするなど、様々な経路の接続を、効率的かつ効果的な参観手法のあり方の検討を行う。また、運営等業務について、仕様の見直し等により効率的・効果的な事業の実施に努める。	新たな成長推進特：2 遊覧船参観のシステム の経費については、令和4年度概算要求からデジタル庁にて予算計上。	遊覧船	一般会計	(項) 遊覧施設運営費(大事項) 遊覧施設運営に必要な経費	内閣府	-	0122	-	-	-	-	前年度時から5年	
施策名：2.5. 宇宙開発利用に関する施策の推進																												
137	宇宙利用拡大の調査研究	平成26年度	-	430	430	347	点検対象外	現状通り	過去の有識者の所見を踏まえ、引き続き効率的・効果的な事業の実施に努めること。	450	450	0	-	現状通り	所見を踏まえ、事業者の進捗管理等を通時適切に行い、効率的・効果的な執行に努める。		宇宙開発戦略推進事務局	一般会計	(項) 宇宙開発戦略推進事務局(大事項) 宇宙開発利用政策の企画立案等に必要な経費(大事項) 宇宙開発利用政策の推進に必要な経費	内閣府	-	0123	-	-	-	-	令和2年度対象	

138	実用車天頂衛星システム事業の推進	平成24年度 令和14年度	38,465	37,883	37,196	点検対象外	現状通り	引き続き、経費の使途等を精査・確認の上、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効率的に執行した実績を概算要求に反映させ、コストの縮減に努めること。	17,069	27,811	10,742	-	現状通り	所要を踏まえ、引き続き事業の進捗状況等を把握して、効果的・効率的な事業の実施に努める。	新たな成長推進枠： 14,906	宇宙開発戦略推進事務局	一般会計	(項) 宇宙開発戦略推進事務局(大事項) 宇宙開発利用政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0124 -	-	-	-	平成29年度対象	○
139	宇宙開発利用推進費	令和2年度	5,700	4,620	4,620	点検対象外	現状通り	事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めること。	1,300	5,800	4,500	-	現状通り	宇宙開発委員会等関係・検証小委員会の下で、少なくとも年に一度、事業の進捗や成果を委員会に報告する機会を設定し、主催者等に必要に応じて進捗を確認するとともに、必要に応じて事業の見直しを行うことで、適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めていく。	新たな成長推進枠：4,500	宇宙開発戦略推進事務局	一般会計	(項) 宇宙開発戦略推進事務局(大事項) 宇宙開発利用の推進に必要な経費	内閣府	- -	-	-	-	前年度新規	○
施策名：26. 北方領土問題解決促進のための施策の推進																									
140	北方領土運送要車運動推進等経費	昭和43年度	52	52	33	点検対象外	現状通り	不用額が生じていることを踏まえ概算要求に反映させること。また、一者応礼となった要因を検証し、競争性が確保されるよう事業の実施に努めること。	53	88	35	-	現状通り	引き続き、適正な予算の執行、事業成果の検証等に努めることとする。また、一者応礼となった要因を検証し、競争性が確保されるよう見直しを行うよう努める。	新たな成長推進枠：54	北方対策本部	一般会計	(項) 北方対策本部(大事項) 北方領土問題対策に必要な経費	内閣府	- 0125 -	-	-	-	平成30年度対象	○
施策名：27. 少子化社会対策大綱及び子ども・子育て支援の推進																									
141	子ども・子育て支援に必要な経費	平成17年度	201	201	122	点検対象外	現状通り	政府の重要な政策のもとで、平成17年度から継続的な事業をたくさん実施して1つの事業にしているが、内閣府は政策研究を軸とする各種調査・研究等、施設についての理解促進事業等である。しかし、「こども庁」の話し合いも出ていない。一層進立を促す。これまでの活動を振り返り、その結果を「こども庁」の議論に材料を提供するべきであろう。	167	146	▲21	-	現状通り	引き続き、適正な予算執行に努める。		子ども・子育て本部	一般会計	(項) 子ども・子育て本部(大事項) 子ども・子育て支援に必要な経費	内閣府	- 0126 -	-	-	-	前回点検から5年	
142	地域少子化対策強化事業	平成25年度	2,133	2,103	762	点検対象外	現状通り	予算の執行率も改善の見込みがあることであるが、引き続き、補正予算の規模なども含めた予算の適正性と事業効果について適切に検証しつつ、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	823	3,003	2,180	-	現状通り	・これまでの行政改革推進会議における指図(通告)を踏まえ、引き続き、中期的な事業効果の適正に資する成果の達成や参加者の把握、検証を行っている。 ・概算要求については、執行予算額を上回る必要があった状況に踏まえ、令和3年度執行予算額30.0億円-令和4年度概算要求額30.0億円とした。	新たな成長推進枠：2,262	子ども・子育て本部	一般会計	(項) 子ども・子育て本部(大事項) 子ども・子育て支援に必要な経費	内閣府	- 0127 -	-	-	-	平成30年度対象	○
143	児童手当等交付金に必要な経費	昭和46年度	1,326,160	1,326,160	1,277,910	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の実施のために必要な予算確保に努め、適正な予算の執行に努めること。	1,294,923	1,276,094	▲18,830	-	現状通り	引き続き、児童手当支給対象者に確実に手当てを支給できるよう努めてまいりたい。		子ども・子育て本部	年金特別会計子ども・子育て支援勘定	(項) 児童手当等交付金(大事項) 児童手当交付金に必要な経費(大事項) 特例給付等交付金に必要な経費	内閣府	- 0128 -	-	-	-	平成29年度対象	○
144	子どものための教育・保育給付に必要な経費	平成27年度	1,475,538	1,475,538	1,440,276	点検対象外	現状通り	昨年度の外部有識者からの所見で指摘されたアウトカム基準の見直し検討の結果を踏まえつつ、引き続き、事業の実施のために必要な予算確保に努め、適正な予算の執行に努めること。	1,529,939	1,529,939	0	-	現状通り	本事業は、市町村等が行う教育・保育の提供に対して国として義務的負担を行うものであるが、子育て安心プランにおける成果の達成状況も踏まえたアウトカム基準を検討しつつ、引き続き、事業の実施のために必要な予算確保に努め、適正な予算の執行に努めてまいりたい。		子ども・子育て本部	年金特別会計子ども・子育て支援勘定	(項) 子ども・子育て支援推進費(大事項) 子どものための教育・保育給付等に必要な経費	内閣府	- 0129 -	-	-	-	令和2年度対象	○
145	地域子ども・子育て支援に必要な経費	平成27年度	187,008	183,094	166,696	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の実施のために必要な予算確保に努め、適正な予算の執行に努めること。	186,401	186,401	0	-	現状通り	子ども・子育て支援法に基づく地域子ども・子育て支援事業が市町村で実施されるよう、事業の推進に努めてまいりたい。		子ども・子育て本部	年金特別会計子ども・子育て支援勘定	(項) 地域子ども・子育て支援推進費(大事項) 地域子ども・子育て支援に必要な経費	内閣府	- 0130 -	-	-	-	平成29年度対象	○
146	仕事・子育て両立支援事業に必要な経費	平成28年度	583	80	80	点検対象外	事業内容の一部の改善	昨年度の外部有識者からの「事業の有効性が△とされていることを○にするための事項は明確に評価されている」と指摘され、改善点として、前述の点検・評価委員会において継続的に点検・評価していくこととなったが、また改善が見えない。引き続き雇用機会の確保・評価を受けながら、より一層、事業の有効性の検証を行いつつ、引き続き、事業の実施のために必要な予算確保に努め、適正な予算の執行に努めること。	0	0	0	-	執行改善	令和3年度の新規募集においては、募集枠を上回る申請数があったところである。なお、募集定員をより確保できるように、利用が促進となった。事業の休止や取り止め、取消しなどが生じるような施設に対する取組が実施された。引き続き、企業主導型保育事業点検・評価委員会において継続的に点検・評価していくことで、適正な予算執行に努めてまいりたい。		子ども・子育て本部	一般会計	(項) 仕事・子育て両立支援事業費(大事項) 仕事・子育て両立支援に必要な経費	内閣府	- 0131 -	-	-	-	令和2年度対象	○
147	大学等における格差支援に必要な経費	令和2年度	488,176	488,176	488,176	点検対象外	現状通り	・点検結果及び改善の方向性について記載していただきたい。(記号事項なしの場合はそれと分かるような記載が必要ではないか。) 法第7条第2項第1号では、「大学等の教育の実施に際して、大学等が社会で自立し、及び活躍することができるような豊かな人間性を涵養した質の高い人材を育成するために必要なものとして文部科学省令で定める基準に適合するものであること。」とされているが、この要件は実質上、実務教員要件として運用されている。このことについて、法の趣旨や制度運用実態との間には乖離があるのではないかと。(実務教員が一定割合に達することが、必ずしも学生の自立につながっているわけではないのではないか。)	480,366	480,366	0	-	執行改善	点検結果及び改善の方向性については、記載を行った対象校に実務経験のある教員の一定割合の配置を求めることは、在学する学生が、本法の趣旨である、「社会で自立し、活躍することができるような豊かな人間性を涵養した質の高い人材を育成する」ための学問進取と実務的教育的バランスの取れた質の高い教育を行うことにつながるため、本法の趣旨と制度運用実態との間には乖離は見えない。また、活動指針及び活動実績については、令和2年度または年度当初に確認申請の審査を行った対象機関を当該年度の実績及び翌年度の当初見込みとしていたが、令和3年度からは実施に即した活動実績を計上するため、当初見込みは前年度当初確認申請の審査を行った対象機関数、活動実績は前年度末時点での対象機関数とし、計上する学生も、事業の対象となる学校法人を計上するとした。		子ども・子育て本部	一般会計	(項) 大学等格差支援費(大事項) 大学等における格差の支援に必要な経費	内閣府	新2 - 0009	-	-	-	前年度新規	○
施策名：28. 有人国境離島施策の推進																									
148	有人国境離島政策の推進に必要な経費	平成29年度 令和8年度	5,851	5,786	3,967	点検対象外	現状通り	交付金事業の効果測定や検証、適切な交付金活用のためのフォローアップを行うなど、事業の有効性・効率性について適切に検証するとともに、事業の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	5,034	5,897	863	-	現状通り	・有人国境離島に関する施策については、引き続き、都道府県計画に沿って、地域の状況に応じて支援していく。 ・地方公共団体のアウトカムの設定と国の施策との整合と関係については、今後のフォローアップにおいて、国だけでなく、地域毎の指標や組織を検証し、必要に応じて、国の基本方針や都道府県計画の見直し等を行う。	新たな成長推進枠：1,370	総合海洋政策推進事務局	一般会計	(項) 有人国境離島政策推進費(大事項) 有人国境離島政策の推進に必要な経費	内閣府	- 0139 -	-	-	-	平成30年度対象	○
施策名：29. 国際平和協力に関する施策の推進																									
149	国際平和協力隊の派遣等経費	平成4年度	219	219	90	点検対象外	現状通り	引き続き、予算の効率的執行に努めるとともに、実績を適切に概算要求に反映させること。	207	207	▲0	-	現状通り	引き続き、効果的な執行に努めるとともに、執行実績を踏まえた予算要求を行うこと。		国際平和協力本部	一般会計	(項) 国際平和協力本部(大事項) 国際平和協力業務の実施等に必要な経費	内閣府	- 0132 -	-	-	-	平成29年度対象	
150	国際平和協力のための人材育成経費	平成17年度	43	43	29	点検対象外	現状通り	国際平和協力研究員は、平成14年の国際平和協力研究員法に基づき設置されたもので、そもそもは国際平和協力本部の外に置かれたもののように思われるが、ニュートンでは、研究員が本部の業務をすることになっている。現在の活動形式に異議を唱えるものではないが、国際関係は、制度的な整備がなされないまま進んでいるのではないかという印象をもつが如何。	49	49	0	-	現状通り	国際平和協力研究員制度は、国際平和協力懇話会の報告(平成14年5月28日)を踏まえ平成17年度に創設され、国際平和協力研究員は、国際平和協力研究員法に基づき設置されたもので、平成17年(令和5号)第1条により国際平和協力本部事務局に置かれ、また、その任務については、国際連合平和維持活動等に対する協力を促進する法律(平成4年法律第79号)第4条第2項第7号に規定された「国際平和協力業務の実施等に関する調査(第3号に掲げるものを除く。）」及び知識の普及に努めること」を踏まえ、国際平和協力研究員の設置に関する訓令第2条に規定されている。併せて、国際平和協力分野における研究業務及び国際平和協力本部事務局の支援業務の2つを柱としており、それにより将来的に国際平和協力分野のニューノーマルとして人材を育成していただく。これまで多人数の人材を国際機関等へ推薦し選出しており、国際平和協力懇話会の報告でもその取組は目的は十分に達成していると考えられている。また、毎年度一定の不用額が生じているが、国際平和協力研究員については、欠員が生じた場合、随時公募を行っているものの、応募資格として国際機関等での実務経験や大学院等での研究経験、国際平和協力に関連する分野に係る知識等、高度な専門的な知識、経験が必要であり、外部有識者にも審査に参加してもらい多角的な視点から適切な人材を選出するという方針も必要のため、直ぐに補充することができず、それが一定の不用額が生ずる背景となっている。引き続き国際平和協力研究員制度を適切に運用し、効果的な執行に努める。		国際平和協力本部	一般会計	(項) 国際平和協力本部(大事項) 国際平和協力業務の実施等に必要な経費	内閣府	- 0133 -	-	-	-	前回点検から5年	

151	人遺教養物質費経費	平成9年度	-	92	92	88	点検対象外	現状通り	一者応札の現状について、引き続き参入可能な事業者の事前調査及び参入条件の緩和を検討するなど、一者応札の是正に努めること。	156	193	170	-	現状通り	1者応札の事例はあったものの、物質協力関係の複数の契約の中で1件のみ。履行体制証明書の審査を経て、結果的に1票に上がったものの「審査の滞り」により参入できなかった者もあり。今後に向けては、事業者の事前調査及び仕様内容の再検討等を行うことにより、一者応札の是正に努めてまいります。	新たな成長推進枠：91	国際平和協力本部	一般会計	(項) 国際平和協力本部(大事項) 国際平和協力業務の実施等に必要な経費	内閣府	-	0134	-	-	-	-	-	令和2年度対象			
施策名：30. 日本学術会議に関する施策の推進																															
152	各国アカデミーとの交流等の国際的な活動	昭和23年度	-	196	196	114	点検対象外	現状通り	引き続き、過去の公開プロセスの指摘を踏まえ、加盟団体の分担金の差やその事業効果測定について検証を行い、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	200	216	16	-	現状通り	引き続き、過去の公開プロセスの指摘を踏まえ、加盟団体の分担金の差やその事業効果測定について、専門の委員会において個別の状況等を分析して適宜是正を行うことにより今後の事業に反映させる。		日本学術会議	一般会計	(項) 日本学術会議(大事項) 科学に関する重要事項の審議等に必要な経費	内閣府	-	0135	-	-	-	-	-	平成29年度対象			
153	科学の役割についての普及・啓発	昭和61年度	-	6	6	6	点検対象外	現状通り	有識者の所見を踏まえ、引き続き経費の使途等を精査・確認の上、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	6	7	1	-	現状通り	「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」(令和3年4月22日日本学術会議総会決定)において、「国民に分かりやすく科学の成果を伝えるだけでなく、国民の思いやニーズ・関心を把握するため、双方向のコミュニケーションの充実を図る」ことが明記されている。学術フォーラムは国民の関心の高い問題を中心にテーマが設定された「全国1万人の国民が意見を述べ、分野の学術フォーラムに一人の国民として参加し直接的かつ双方向の対話により科学の向上推進に寄与することも想定」を実施。その上で広く国民に周知し、経費の使途等をしっかりと確認の上、効果的・効率的な事業の実施に努める。		日本学術会議	一般会計	(項) 日本学術会議(大事項) 科学に関する重要事項の審議等に必要な経費	内閣府	-	0136	-	-	-	-	-	前回点検から5年			
154	科学者間ネットワークの構築	昭和24年度	-	8	8	3	点検対象外	現状通り	引き続き、経費の使途等を精査・確認の上、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	7	7	▲0	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努める。		日本学術会議	一般会計	(項) 日本学術会議(大事項) 科学に関する重要事項の審議等に必要な経費	内閣府	-	0137	-	-	-	-	-	令和元年度対象			
施策名：31. 国家公務員の再就職支援及び官民の人材交流の円滑な実施の支援																															
155	国家公務員の再就職支援経費	平成25年度	-	69	110	91	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、事業の有効性及び効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努めること。	67	45	1	-	現状通り	(事業①について) 令和2年9月から国家公務員経験者の求職・求職情報サイトによる運用を開始したことにより、求職者及び求職者双方の利便性向上が図られ、令和2年度の成果実績(40件)は、予め定めた令和3年度の成果目標(40件)を上回ったことから、令和3年度の成果目標を見直し、60件とした。引き続き事業の推進と並行して、求職者情報サイトの利用者数を増やすことにより、予算の効率的な執行に努める。 (事業②について) 新たな低コストの支援の導入を令和2年度から取ったことにより(支援期間として1年間、6か月間に加えて1か月間を新規)、引き続き予算の効率的執行に努めていく。なお、利用者数はこれまで増加傾向にあったものの令和2年度は前年度より減少したが、本事業の意義や需要動向は大きく変わらないと考え、概算要求を行っている。	国家公務員経験者の求職・求職情報サイトの検証については、令和4年度概算要求からデジタル庁にて予算計上	官民人材交流センター	一般会計	(項) 官民人材交流センター(大事項) 官民人材交流センターの運営に必要な経費	内閣府	-	0138	-	-	-	-	-	最終実施年度			
いずれの施策にも関連しないもの																															
156	内閣府庁舎等施設の整備に必要な経費	平成13年度	-	759	2,139	1,771	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見も踏まえながら、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めるとともに、効果的・効率的な執行の実績を概算要求に反映させること。	315	356	42	-	現状通り	引き続き、中長期的整備計画に基づく、効果的かつ効率的な整備を行う。また、後年度における負担も考慮しつつ、改修等の必要性が高い場合に適切な整備を行う。		大臣官房 倉庫課	一般会計	(項) 内閣府施設整備(大事項) 内閣府施設整備に必要な経費	内閣府	-	0146	-	-	-	-	-	前回点検から5年			
157	迎賓館の魅力向上に向けた施設整備に必要な経費	平成29年度	令和2年度	0	0	0	点検対象外	終了予定	今後、同様の事業を実施する際は、当該事業の知見を最大限生かして、効果的・効率的な事業の実施に努めることとする。	0	0	0	-	予定通り終了	所見を踏まえて、同様の事業を実施する際は、当該事業の知見を最大限生かして、効果的・効率的な事業の実施に努めることとする。		大臣官房 企画調整課	一般会計	(項) 内閣府施設整備(大事項) 内閣府施設整備に必要な経費 (項) 内閣府共通費(大事項) 内閣府一般行政に必要な経費	内閣府	-	0183	-	-	-	-	平成30年度対象				
158	新たな国立公文書館施設の整備に必要な経費	平成30年度	-	1,187	402	388	点検対象外	現状通り	引き続き、支出責任先との連携を緊密に図り、効果的・効率的な事業の実施に努めるとともに必要な予算を概算要求に反映させること。	1,751	1,018	▲733	-	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施等に努める。		大臣官房 公文書管理課	一般会計	(項) 内閣府施設整備(大事項) 内閣府施設整備に必要な経費	内閣府	-	0147	-	-	-	-	令和元年度対象				
159	独立行政法人国立公文書館運営費交付金に必要な経費	平成13年度	-	2,365	2,365	2,365	点検対象外	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めることとし、効果的に執行した実績を概算要求に反映させること。	2,387	2,602	215	-	現状通り	効果的・効率的な事業の実施に向けて、引き続きコスト削減に対する取組を実施していくこととする。	新たな成長推進枠：412	大臣官房 公文書管理課	一般会計	(項) 独立行政法人国立公文書館施設整備費(大事項) 独立行政法人国立公文書館運営費交付金に必要な経費	内閣府	-	0148	-	-	-	-	平成30年度対象			○	
160	独立行政法人国立公文書館施設整備に必要な経費	平成30年度	-	34	154	145	点検対象外	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めることとし、効果的に執行した実績を概算要求に反映させること。	56	172	117	-	現状通り	効果的・効率的な事業の実施に向けて、引き続きコスト削減に対する取組を実施していくこととする。	新たな成長推進枠：172	大臣官房 公文書管理課	一般会計	(項) 独立行政法人国立公文書館施設整備(大事項) 独立行政法人国立公文書館施設整備に必要な経費	内閣府	-	0149	-	-	-	-	令和元年度対象			○	
161	拉致被害者等の支援に必要な経費	平成15年度	-	372	372	10	点検対象外	現状通り	引き続き、適切な経費の執行に努めるとともに、必要な支援を実施すること。	382	393	11	-	現状通り	行政事業レビュー推進チームの所見を踏まえ、適切な経費の執行に努めつつ、必要な支援を実施するよう努める。		大臣官房 金融被害者等支援 担当室	一般会計	(項) 内閣府共通費(大事項) 拉致被害者等の支援に必要な経費	内閣府	-	0144	-	-	-	-	平成29年度対象				
162	社会保障・税番号制度に関する周知・広報に必要な経費	平成26年度	令和3年度	487	337	289	点検対象外	終了予定	デジタル庁発足に合わせて事業はデジタル庁へ移行し、令和4年度予算からデジタル庁内の所管となるため、デジタル庁において、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めること。また、効果的に執行した実績を概算要求に反映させること。	222	0	▲222	-	予定通り終了	デジタル庁において、引き続き、効果的・効率的な事業の実施に努めるとともに、効果的に執行した実績を概算要求に反映させること。		大臣官房 番号制度担当室	一般会計	(項) 内閣府共通費(大事項) 内閣府一般行政に必要な経費	内閣府	-	0140	-	-	-	-	令和2年度対象				
163	消費税軽減等対策に必要な経費	平成25年度	令和2年度	172	172	135	点検対象外	終了予定	事業終了後、緊急に実効性の高いフォローアップに努め、事業の有効性・成果について適切かつ明確になるよう検証し、今後の同様事業実施につなげるべき。	0	0	0	-	予定通り終了	所見を踏まえ、緊急に実効性の高いフォローアップに努め、事業の有効性・成果について適切かつ明確になるよう検証し、今後の同様事業実施につなげていく。		大臣官房 消費税軽減等対策 担当室	一般会計	(項) 内閣府共通費(大事項) 消費税軽減等対策に必要な経費	内閣府	-	0145	-	-	-	-	令和元年度対象				
164	経済財政政策推進の企画立案総合調整に必要な経費	平成13年度	-	30	30	26	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な執行に努めること。	29	25	▲4	-	現状通り	引き続き、予算を効果的かつ効率的に執行するために努めてまいります。	新たな成長推進枠：10	政策統括官(経済 財政政策担当)	一般会計	(項) 経済財政政策(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要な経費	内閣府	-	0151	-	-	-	-	前回点検から5年				
165	国際会議等に必要な経費	平成13年度	-	114	114	58	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、説明内容を検討するとともに、引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効果的かつ効率的な執行に努めること。	120	120	0	-	現状通り	ご指摘を踏まえ、「事業所管部局による点検・改善」欄にオンライン会議のデメリットを今後参考として書き添え、国際会議は対面開催が増えてきており、海外出張も徐々に再開されると見込まれるところ。引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的かつ適切な予算執行に努めてまいります。		政策統括官(経済 財政政策担当)	一般会計	(項) 経済財政政策(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要な経費	内閣府	-	0152	-	-	-	-	前回点検から5年				

166	雇用対策の総合的推進に必要な経費	平成20年度	-	3,012	3,012	672	点検対象外	現状通り	引き続き、参入可能な事業者の事前調査及び参入要件の緩和等を検討するなど、一者応礼の趣旨に努めるとともに、事業の計画的かつ適正な予算執行に努めること。	9	1,653	1,643	-	執行等改善	令和3年度の予算執行において、「就労・雇用活動に係る調査」については、一般競争入札・総合評価方式の利用、市場価格調査への掲載や十分な公告期間の設定、及び広く業者を参加したることによって、競争事業者による応礼となつた結果、委託先の事業者は変更されたところ、引き続き適切な執行に努めてまいりたい。	新たな成長推進特: 1,643	政策統括官(経済財政運営担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0153 -	-	-	-	-	平成29年度対象			
167	プレミアム付商品券事業の助成に必要な経費	平成30年度	令和2年度	53	55,261	28,202	点検対象外	終了予定	今後、同様の事業を実施する際は、当該事業の知見を最大限生かして、効率的・効果的な事業の実施に努めること。	0	0	0	-	予定通り終了	当該事業は、令和2年度に終了し、評価・検証を行い、今後、同様の事業を実施する際は、評価・検証等による知見を最大限生かして、効率的・効果的な事業の実施に努めるよう、報告書を令和2年12月に公表した。		プレミアム付商品券事業担当室	一般会計	(項) プレミアム付商品券事業助成費(大事項) プレミアム付商品券事業の助成に必要な経費	内閣府	- 0184	-	-	-	-	令和元年度対象			○
168	中長期的経済運営に必要な経費	平成14年度	-	134	85	50	点検対象外	現状通り	意見交換、会合の開催、調査を目的に、①複数のアウトプット、複数のアウトカム、複数のKPIがある。また、それぞれの受託企業等が別々に活動をしている。この①②をふまえてレビューする視点は、調査の視点で十分である。したがって、現状でこのシートに問題は無いと考える。	156	186	30	-	現状通り	契約にあたっては一者応礼の趣旨に留意の上、調査等を実施していく。	新たな成長推進特: 53	政策統括官(経済財政運営担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0154 -	-	-	-	-	前年度点検から5年			○
169	経済財政政策に関する有識者の見解調査・コンセンサス検討経費	平成24年度	-	4	4	2	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的かつ効率的な予算執行に努めること。	3	3	0	-	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的かつ効率的な予算執行に努めてまいりたい。		政策統括官(経済財政運営担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0155 -	-	-	-	-	平成30年度対象			
170	経済財政政策の効果分析	平成12年度	-	22	22	11	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、伝達方法を検討するとともに、一者応礼の現状について、引き続き参入可能な事業者の事前調査及び参入要件の緩和等を検討するなど、一者応礼の趣旨に努めること。	21	99	78	-	現状通り	調査・分析の成果物については記者レクなどを行っているが、他の公表物との関連性を高める等適切に成果物の普及に努める。一者応礼に係る今後の対応としては、30日以上以上の市場価格調査・公告期間の確保、分かりやすい仕様書の作成、履行期間の十分な確保に取り組みすることとする。	新たな成長推進特: 80	政策統括官(経済財政分析担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0156 -	-	-	-	-	前年度点検から5年			
171	計量分析一般関連業務	平成12年度	-	4	4	1	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的かつ効率的な予算執行に努めること。	4	4	▲0	-	現状通り	今後とも、事業の適切な進捗管理、予算の効率的かつ効率的な執行に努める。		政策統括官(経済財政分析担当)	一般会計	(項) 経済財政政策費(大事項) 経済財政政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0157 -	-	-	-	-	平成29年度対象			○
172	科学技術・イノベーション政策に係る調査等	平成13年度	-	25	25	16	点検対象外	現状通り	引き続き、過去の有識者からの指摘を踏まえ、競争性のない競争契約による場合には真に中むを得ない場合に限りなどとし、事業を進めること。	25	26	0	-	現状通り	過去の有識者からの指摘を踏まえ、今後も競争性のない競争契約による場合には、真に中むを得ない場合に限りなどとする。また、デジタル庁にて予算計上。	・新たな成長推進特: 2 ・ウェブサイト整備の経費については、令和4年度経費からデジタル庁にて予算計上。	科学技術・イノベーション推進事務局	一般会計	(項) 科学技術・イノベーション政策費(大事項) 科学技術・イノベーション政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0160 -	-	-	-	-	令和元年度対象			○
173	科学技術・イノベーション活動に係る国際活動	平成14年度	-	25	25	3	点検対象外	現状通り	引き続き、過去の有識者からの指摘を踏まえ、予算の適切かつ効率的な執行に努めながら事業を進めること。	25	25	0	-	現状通り	引き続き、過去の有識者からの指摘を踏まえ、予算の適切かつ効率的な執行に努めながら事業を進めることとする。		科学技術・イノベーション推進事務局	一般会計	(項) 科学技術・イノベーション政策費(大事項) 科学技術・イノベーション政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0161 -	-	-	-	-	令和元年度対象			
174	科学技術システム改革の推進	平成18年度	-	31	31	25	点検対象外	現状通り	有識者の所見を踏まえ、引き続き事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、予算の効率的かつ効率的な執行に努めること。	31	91	60	-	現状通り	事業における調査結果を踏まえ、統合イノベーション戦略2021(令和3年6月18日閣議決定)において、「標準化推進の新たな産業を創出する基盤となるイノベーション・エコシステムの形成」について記載、公表された。令和4年度事業実施においては、既有的調査内容を見直し・縮減した上で、同戦略を踏まえて新たにスタートアップ・イノベーション拠点都市の活性化に関する調査を追加。 引き続き事業の有効性・効率性・成果について適切かつ的確に検証し、予算の効率的かつ効率的な執行に努めることとする。	新たな成長推進特: 60	科学技術・イノベーション推進事務局	一般会計	(項) 科学技術・イノベーション政策費(大事項) 科学技術・イノベーション政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0162 -	-	-	-	-	前年度点検から5年			○
175	革新的研究開発の推進	平成22年度	-	3	3	1	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めること。	3	13	9	-	現状通り	予算の効率的な執行に留意しつつ、引き続き事業の執行管理を徹底し、効率的・効果的な事業の実施に努める。	新たな成長推進特: 9	科学技術・イノベーション推進事務局	一般会計	(項) 科学技術・イノベーション政策費(大事項) 科学技術・イノベーション政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0163 -	-	-	-	-	平成29年度対象			
176	エビデンスシステムの構築	平成26年度	-	207	205	162	点検対象外	現状通り	過去の有識者の所見を踏まえ、調査結果の活用事例についてより詳細な説明に努めるとともに、引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めること。	207	436	230	-	現状通り	エビデンスシステム(e-GSTI)においては、調査結果として「見える化」の目的、方法、結果を説明するページを設けている。このようページを充実させることにより、調査結果の活用事例についてより詳細な説明に努めることとする。また、科学技術・イノベーション分野における官民協働に基づく政策立案や国立大学・研究開発法人の運営の推進に資する調査内容の設定や、委託先との定期的な会議による進捗状況の管理を行うことにより、予算の効率的執行に努めることとする。	・新たな成長推進特: 290 ・エビデンスシステム(e-GSTI)の維持・運用に係る経費については、令和4年度概算要求からデジタル庁にて予算計上。	科学技術・イノベーション推進事務局	一般会計	(項) 科学技術・イノベーション政策費(大事項) 科学技術・イノベーション政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0164 -	-	-	-	-	令和2年度対象			○
177	政府のイノベーション化の促進に係る調査・分析	令和元年度	-	51	51	41	点検対象外	現状通り	過去の有識者の所見を踏まえ、引き続き効果的・効率的な事業の実施に努めること。	47	47	0	-	現状通り	引き続き効果的・効率的な事業の実施に努めることとする。	新たな成長推進特: 8	科学技術・イノベーション推進事務局	一般会計	(項) 科学技術・イノベーション政策費(大事項) 科学技術・イノベーション政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0167	-	-	-	-	令和2年度対象			○
178	途上国等における STI for SDGs の推進	令和元年度	令和4年度	135	135	128	点検対象外	事業全体の継続的な改善	公開プロセスでの議論、外部有識者の所見を踏まえ、事業内容の見直し、効果検証手法の検討を行い、本事業における有効性・効果の向上を確保するとともに、概算要求に反映させること。	124	92	▲32	▲32	縮減	STI for SDGsプラットフォーム構築のための調査・分析については最終年度となる令和3年度の事業実施において参入要件及び効果検証手法を見直し、これを反映することとし、本事業の継続となる令和4年度要求は実施しないこととした。また途上国におけるSTI for SDGsの推進に係る、母国及び国際開発計画への拠出については、1か年事業として調整を行った相手機関との信頼関係維持の観点より、令和4年度要求を昨年年度同様として継続する一方で、公開プロセスでの議論、外部有識者の所見を踏まえ、事業内容及び効果検証手法を見直し、これを適宜事業に反映することとする。		科学技術・イノベーション推進事務局	一般会計	(項) 科学技術・イノベーション政策費(大事項) 科学技術・イノベーション政策の企画立案等に必要経費	内閣府	- 0168	-	-	-	-	最終実施年度			○

179	大学支援フォーラムPEAMS	令和元年度	-	58	58	52	点検対象外	現状通り	過去の有識者の所見を踏まえ、目標の達成に向けてネットワークが同様の、ワーキンググループ等での検討を進めるとともに、引き続き効果的・効率的な事業の実施に努めること。	世界と伍する研究大学の実現におけるポータルネットワークが何か、ISTJ専門調査会やPEAMSワーキンググループ等での検討を踏まえ、経費削減策を支援し、今後独立を促す人材育成スキームに反映させる。	新たな成長推進特：98	科学技術・イノベーション推進事務局	一般会計	(項) 科学技術・イノベーション政策費(大事項) 科学技術・イノベーション政策の企画立案等に必要経費	内閣府	-	0169	-	-	-	-	令和2年度対象	○		
180	科学技術・イノベーション基本計画に係る調査等	令和2年度	-	77	79	79	点検対象外	現状通り	有識者の所見を踏まえ、一者応礼の現状については、参加可能な事業者の事前調査及び参加要件の緩和等を検証し説明すること。引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めるべき。	引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めることとする。	新たな成長推進特：47	科学技術・イノベーション推進事務局	一般会計	(項) 科学技術・イノベーション政策費(大事項) 科学技術・イノベーション政策の企画立案等に必要経費	内閣府 新2	-	0011	-	-	-	-	前年度新規	○		
181	Society5.0の世界向け発信事業	令和2年度	令和2年度	170	170	47	点検対象外	終了予定	有識者の所見を踏まえ、今後、同様の事業を実施する際は、当該事業の知見を最大限生かして、効果的・効率的な事業の実施に努める。	有識者の所見を踏まえ、今後、同様の事業を実施する際は、当該事業の知見を最大限生かして、効果的・効率的な事業の実施に努める。なお、発信事業により期待される効果として、海外メディアを対象とした、日本の「Society 5.0」の成果の発信に際し、主要国のメディアに対して「アクトカム」活動を行う」としていたところ、その成果に関するアクトカムとして「主要58国(G20、OECD、EU、ASEAN加盟国)のメディアから記事に取り上げられる」と設定したものである。		科学技術・イノベーション推進事務局	一般会計	(項) 科学技術・イノベーション政策費(大事項) 科学技術・イノベーション政策の企画立案等に必要経費	内閣府 新2	-	0012	-	-	-	-	前年度新規	○		
182	安全・安心に関するシンクタンク機能の上げ	令和2年度	-	29	29	11	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、必要があれば、調達方法の改善を検討すること。また、引き続き事業の効率的・効果的・成果に高い適切かつ的確に検証し、予算の効率的かつ効果的な執行に努めること。	外部有識者からのご指摘に従い、令和3年度までの委託回数については、提案の内容を重視した企画競争方式を実施した。	新たな成長推進特：653	科学技術・イノベーション推進事務局	一般会計	(項) 科学技術・イノベーション政策費(大事項) 科学技術・イノベーション政策の企画立案等に必要経費	内閣府 新2	-	0013	-	-	-	-	前年度新規	○		
183	次世代医療基盤に関する国民・患者の理解の増進に必要な経費	令和元年度	-	60	60	41	点検対象外	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施、予算の適切かつ効果的な執行に努めることとする。	所見の通り、引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的かつ適正な執行に努めることとする。		健康・医療戦略推進事務局	一般会計	(項) 内閣府共通費(大事項) 内閣府一般行政に必要な経費 (項) 健康・医療戦略推進事務局(大事項) 健康・医療戦略の推進等に必要経費	内閣府	-	0142	-	-	-	-	令和2年度対象			
184	匿名加工医療情報の利活用に必要な経費	令和元年度	-	61	61	46	点検対象外	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施、予算の適切かつ効果的な執行に努めることとする。	所見の通り、引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的かつ適正な執行に努めることとする。	新たな成長推進特：52	健康・医療戦略推進事務局	一般会計	(項) 内閣府共通費(大事項) 内閣府一般行政に必要な経費 (項) 健康・医療戦略推進事務局(大事項) 健康・医療戦略の推進等に必要経費	内閣府	-	0143	-	-	-	-	令和2年度対象			
185	国立研究開発法人日本医療研究開発機構出資に必要な経費	平成28年度	令和27年度	38,000	38,000	38,000	点検対象外	現状通り	当業務を通じて得られた知見を基に、AMEDが適切に民間企業等に支出・回収するよう事業管理に努め、効果的・効率的な予算要求及び予算執行を行うこと。	所見を踏まえ、引き続き、当業務を通じて得られた知見を基に、AMEDが適切に民間企業等に支出・回収するよう事業管理に努め、効果的・効率的な予算要求及び予算執行を行うことができるよう努めてまいりたい。		日本医療研究開発機構担当	一般会計	(項) 国立研究開発法人日本医療研究開発機構出資(大事項) 国立研究開発法人日本医療研究開発機構出資に必要な経費	内閣府	-	0181	-	-	-	-	平成30年度対象			
186	健康・医療分野におけるムーンショット型研究開発等事業	令和元年度	令和7年度	0	0	0	点検対象外	現状通り	引き続き、効果的・効率的な事業の実施、予算の適切かつ効果的な執行に努めることとする。	所見の通り、引き続き、事業の適切な進捗管理、予算の効率的かつ適正な執行に努めることとする。	新たな成長推進特：2,975	日本医療研究開発機構担当	一般会計	(項) 科学技術・イノベーション政策費(大事項) 研究開発の推進に必要な経費 (項) 科学技術・イノベーション推進事務局(大事項) 研究開発の推進に必要な経費	内閣府	-	0182	-	-	-	-	令和2年度対象	○		
187	災害対策本部予備施設の改修に関する経費	平成26年度	-	0	69	69	点検対象外	現状通り	過去の有識者の所見も踏まえ、引き続き、目的に合う改修工事であるか、事業の適切な進捗管理、予算の適切かつ効果的な執行に努めること。	過去の有識者の所見も踏まえ、目的に合う改修工事であるかを検証し、事業の適切な進捗管理、予算の適切かつ効果的な執行に努める。		政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 内閣府施設費(大事項) 内閣府施設整備に必要な経費	内閣府	-	0171	-	-	-	-	令和2年度対象			
188	中央防災無線網の施設整備及び管理に関する経費	平成12年度	-	1,109	836	801	点検対象外	現状通り	過去の有識者の所見を踏まえ、引き続き、中央防災無線網を利用する各機関と緊密に連携し、適切かつ効果的・効率的な運用管理に努めること。	・中央防災無線網運用要領に基づき、中央防災無線網を利用する各機関に運用管理者を定め、電波法等の遵守及び適切な運用管理を行っている。 ・会談や訓練等で各機関との連携を深め、設備障害対応事例及び災害時の活動運用事例等を共有することにより、迅速な障害復旧及び災害対応時の円滑な運用に努めているところ。 ・中央防災無線網設備全体の最適化及び新技術導入を検討し、引き続き、コスト削減及び資産管理の効率化に努める。	新たな成長推進特：167	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費(大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要経費	内閣府	-	0172	-	-	-	-	令和元年度対象			
189	総合防災訓練大綱に基づく総合防災訓練に係る経費	平成26年度	-	85	85	83	点検対象外	現状通り	過去の有識者の所見を踏まえ、訓練において明らかになった課題について改善を図り進捗を行うなど、事業の適切な進捗管理を行うとともに、効果的・効率的な事業の実施に努めること。	過去の有識者の所見も踏まえ、訓練において明らかになった課題に関して、業務の手順や訓練方法の改善等を行いながら事業を進めていくこと。 引き続き、事業の適切な進捗管理を行うとともに、競争性を確保した契約を行い予算の効率的かつ適正な執行に努める。	新たな成長推進特：17	政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 防災政策費(大事項) 防災基本政策の企画立案等に必要経費	内閣府	-	0173	-	-	-	-	令和2年度対象			
190	現地対策本部設置に係る施設の改修に関する経費	平成26年度	令和3年度	101	0	0	点検対象外	現状通り	引き続き、事業の適正な進捗管理、予算の適切かつ効果的な執行に努めること。	引き続き、競争性・透明性の確保に努めた契約を行い、事業の適正な進捗管理を行うこと。効果的かつ適正な予算執行を図る。なお、現時点で計画されている現地対策本部の設置場所候補の改修は並行第2合同庁舎が優先であり、令和2年度補正予算の執行をもって本事業は終了となる。		政策統括官(防災担当)	一般会計	(項) 内閣府施設費(大事項) 内閣府施設整備に必要な経費	内閣府	-	0185	-	-	-	-	最終実施年度			
191	栄典事務の適切な遂行に必要な経費	明治9年度	-	2,803	2,803	2,800	点検対象外	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、随先との協議交渉の実施や、一者応礼の現状について、参加可能な事業者の事前調査及び参加要件の緩和を検討するなど、一者応礼の是正に努めること。	栄典事務効率化システムの経費については、令和4年度補正予算からデジタル庁にて予算計上。		賞勲局	一般会計	(項) 栄典費(大事項) 栄典事務の適切な遂行に必要な経費	内閣府	-	0174	-	-	-	-	前年度から5年			
192	食品安全確保総合調査費	平成15年度	-	60	60	57	点検対象外	現状通り	一者応礼の現状について、引き続き参加可能な事業者の事前調査及び参加要件の緩和を検討するなど、一者応礼の是正に努めること。	引き続きSNSやホームページ等を活用し、応礼者の増加に向けて取り組む。		食品安全委員会	一般会計	(項) 食品安全政策費(大事項) 食品安全の確保に必要な経費	内閣府	-	0175	-	-	-	-	平成29年度対象	○		
193	食品安全行政の充実・強化経費	平成15年度	-	43	43	13	点検対象外	現状通り	不用額が生じていることから、過年度執行実績等を分析し、適切に概算要求に反映させること。	昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことであるが、執行実績が令和4年度の執行見込みも勘案して予算要求を行った。引き続き事業の実施及び適正な進捗の管理、効果的かつ適正な予算の執行に努める。		食品安全委員会	一般会計	(項) 食品安全政策費(大事項) 食品安全の確保に必要な経費	内閣府	-	0176	-	-	-	-	平成30年度対象			
194	遊覧船施設整備に必要な経費	昭和54年度	-	1,039	538	538	点検対象外	現状通り	推進機会が減少している中、事業の有効性及び事業効果及び施設整備計画について適切に検証するとともに、概算要求の適正かつ効果的な執行実績を適切に概算要求に反映させるべき。	施設整備計画について、事業の有効性及び効果を踏まえ、中長期視点に立つて適切に検証する。また、予算の効率的執行に努めるとともに、競争性の確保や一者応礼等に支障が生じないよう、施設整備計画に基づき、概算要求を行った。	新たな成長推進特：381	遊覧船	一般会計	(項) 内閣府施設費(大事項) 内閣府施設整備に必要な経費	内閣府	-	0177	-	-	-	-	令和元年度対象			

195	クールジャパン戦略推進経費	平成27年度	-	99	71	44	点検対象外	現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、不用財が生じることなく、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	65	90	26	-	現状通り	執行実績を適切に概算要求に反映させるとともに、新型コロナウイルス感染症による社会の変化や人々の価値観の変化を踏まえて、終息後にインバウンド需要の回復等が図られるよう、海外と連携してアプルーコロナにおけるクールジャパン戦略を強化するための取組に係る予算等を概算要求している。	新たな成長推進特: 41	知的財産戦略推進事務局	一般会計	(項) 知的財産戦略推進事務局(大事項) 知的財産戦略推進事務局の運営に必要な経費	内閣府	-	0178	-	-	-	-	-	-	-	平成29年度対象			
196	北方地域田漁業者等貸付事業	昭和36年度	-	153	153	118	B.C.Eが随突とされた理由を問う。特に、一般競争契約で事業者を選定できる類型と型別、金融機関であることで随突選定が正当化されるとは思われない。	現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、必要があれば、調達方法の改善の検討をすること。また、効果的な補助金等活用のためのフォローアップを行い、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	153	156	3	-	現状通り	引については、協会設立時に政府から交付された基金を担保として差し入れること等により、当初借入利率は長期プライムレートを下回る低利となっていること、(1)当該借利率は借入契約上、長期の固定金利で継続しており、期間満了に返済する場合には多額の違約金が生じることから、既済の借入金を返済するまでは新たな金融機関に貸付して借換を図る(借りきり換入)ことが不可能ないし不合理であること、加えて、(2)これまで複数の都市銀行、地方銀行、系統中央銀行に対して同条件による借入取引を打診するも、いずれも断られている経緯があり、現在の借入規模等においては現状よりも有利な借入をすることは極めて困難であると考えられること等の理由により、随突選定としている。引については、委託を行っている金融機関に対して委託手数料等を支払うものであること、利用者の利便性を確保するためのできるだけ多くの金融機関と委託契約する必要がある、むしろ借金から借換をしていく関係性があるため、競争入札になじまないものである。引のうち、(3)継続事務所借上契約については、当初の借上債に公事により業者決定をし、その後は近隣エリアの賃料の動向を確認して借換交渉の上、更新しているものである。②会計監査人監査契約については、「独立行政法人改革等に関する基本的な方針」(平成25年12月24日閣議決定)において、監査のノウハウ継承による監査の質の向上を図る必要がある場合には「複数年度にわたって同一の会計監査人と契約することも可能である」旨規定されていることを踏まえ、当初の借上債に「競争入札(総合価値連札方式)」により業者選定をした上	北方対策本部	一般会計	(項) 北方対策本部(大事項) 北方国土問題対策に必要な経費	内閣府	-	0179	-	-	-	-	-	-	前年度点検から5年				○	
197	独立行政法人北方領土問題対策協会運営費交付金	平成15年度	-	1,333	1,333	1,333	点検対象外	現状通り	昨年度の外部有識者からの所見を踏まえつつ、効果的な交付金活用のためのフォローアップを行い、予算の効率的執行に努め、執行実績を適切に概算要求に反映させること。	1,338	1,567	229	-	現状通り	昨年度の外部有識者からの所見を踏まえつつ、引き続き、適正な予算の執行、事業成果の検証等に努めることとする。	新たな成長推進特: 370	北方対策本部	一般会計	(項) 独立行政法人北方領土問題対策協会運営費(大事項) 独立行政法人北方領土問題対策協会運営費交付金に必要な経費	内閣府	-	0180	-	-	-	-	-	令和2年度対象				○	
198	子育て世帯臨時特別給付金給付事業の助成に必要な経費	令和2年度	令和2年度	165,374	165,374	158,333	・事業の有効性に関する記述が見られないが、「新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援することを目的としているため、支給対象者に押し、適切なかつ確実に支給することを成果目標とする。」とされていることからするならば、今後、類似の事業を行う際の参考にするため、事後検証を行う必要もあるのではないか。 ・今後、感染症の蔓延期において同様の措置をとることができないことから、本事業に関する自治体のフォローアップを行い、見直すべき点を洗い出しておくなどの対応があってもよいのではないか。	終了予定	外部有識者の所見を踏まえて、今後の事業に係る事後検証を行い、今後同様の事業が起った際に、今後の随突や改善点を生かせるよう努める事。	0	0	0	-	予定通り終了	当該事業は終了するが、得られた知見は他の事業にも活用する。		子ども・子育て本部	一般会計	(項) 子育て世帯臨時特別給付金給付事業助成費(大事項) 子育て世帯臨時特別給付金給付事業の助成に必要な経費	内閣府 新2	-	0015	-	-	-	-	-	-	前年度新規				○
				6,020,134	4,089,871	3,950,419	一般会計		1,028,632	1,065,450	57,014	▲204																					
行政事業レビュー対象 計				13,625	13,149	11,848	エネルギー対策特別会計電源開発促進勘定		10,245	17,201	6,956	-																					
				3,216,150	3,212,236	3,111,939	年金特別会計子ども・子育て支援勘定		3,205,286	3,186,456	▲18,830	-																					
行政事業レビュー対象外 計				2,547,234	2,555,359	2,551,208	一般会計		2,545,489	2,535,817	▲9,672																						
				1,862	1,862	1,603	エネルギー対策特別会計電源開発促進勘定		1,844	1,997	153																						
				47,456	47,987	37,465	年金特別会計子ども・子育て支援勘定		39,700	10,901	▲28,799																						
合 計				8,587,389	6,646,230	6,501,627	一般会計		3,574,122	3,621,267	47,402																						
				15,487	15,011	13,451	エネルギー対策特別会計電源開発促進勘定		12,089	19,198	7,109																						
				3,283,606	3,280,223	3,149,405	年金特別会計子ども・子育て支援勘定		3,244,986	3,197,357	▲47,629																						

注1. 該当がない場合は「-」を記載し、負の数値を記載する場合は「▲」を使用する。

注2. 「執行可能額」とは、補正後予算額から繰越額、移流用額、予備費等を加除した計数である。

注3. 「反映内容」欄の「廃止」、「縮減」、「執行等改善」、「年度内に改善を検討」、「予定通り終了」、「現状通り」の考え方については、次のとおりである。

「廃止」：令和3年度の点検の結果、事業を廃止し令和4年度予算概算要求において予算要求を行わないもの（前年度終了事業等は含まない。）

「縮減」：令和3年度の点検の結果、見直しが行われ令和4年度予算概算要求において何らかの削減を行うもの（事業の見直しを行い、部分的に予算の削減を行うもの、事業全体としては概算要求額が増加する場合も含む。）

「執行等改善」：令和3年度の点検の結果、令和4年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、明確な廃止年限の設定や執行等の改善を行うもの（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものに限る。）

「年度内に改善を検討」：令和3年度の点検の結果、令和4年度予算概算要求の金額に反映は行わないものの、令和3年度末までに執行等の改善を検討しているもの（概算要求時点で「改善事項を実施済み」又は「具体的な改善事項を意思決定済み」となるものは含まない。）

「予定通り終了」：前年度終了事業等であって、予定通り事業を終了し令和4年度予算概算要求において予算要求しないもの。

「現状通り」：令和3年度の点検の結果、令和4年度予算概算要求の金額に反映すべき点及び執行等で改善すべき点がないもの（廃止、縮減、執行等改善、年度内に改善を検討及び予定通り終了以外のもの）

注4. 予備費を使用した場合は「備考」欄にその旨を記載するとともに、金額を記載すること。

注5. 「外部有識者点検対象」欄については、令和3年度行政事業レビューの取組において外部有識者の点検を受ける場合は下記の基準に基づき、「前年度新規」、「最終実施年度」、「行革推進会議」、「継続の是非」、「その他」のいずれかの選択理由を記載（行政事業レビュー実施要領第2部2（3）を参照）し、平成29年度、平成30年度、令和元年度又は令和2年度の行政事業レビューの取組において外部有識者の点検を受けたものは、それぞれ「平成29年度対象」、「平成30年度対象」、「令和元年度対象」、「令和2年度対象」と記載する。なお、令和3年度に外部有識者の点検を受ける事業については、平成29年度、平成30年度、令和元年度又は令和2年度にも点検を受けている場合には、選択理由のみを記載する（「前年度新規」、「最終実施年度」、「行革推進会議」、「継続の是非」、「その他」のいずれかを記載）。

「前年度新規」：前年度に新規に開始したもの。

「最終実施年度」：当該年度が事業の最終実施年度又は最終目標年度に当たるもの。

「行革推進会議」：前年のレビューの取組の中で行政改革推進会議による意見の対象となったもの。

「継続の是非」：翌年度予算の概算要求に向けて事業の継続の是非等を判断する必要があるもの。

「その他」：上記の基準には該当しないが、行政事業レビュー推進チームが選定したもの。